Junior Chamber International Mito
70th ANNIVERSARY

# 創立70周年記念誌

公益社団法人 水戸青年会議所

# 人と都市活力の調和がとれた都市「水戸」

【JCI水戸×社会＝想いが連鎖するまち】
【JCI水戸×経済＝経済活力が溢れるまち】
【JCI水戸×国際＝グローバル化が進展するまち】

未来ビジョン

MITOプラットフォーム

## ロゴマーク コンセプト

水都（水戸）は、湖・水路・河川等、様々な「水」景で都市が形成されており、ニューヨークのセントラルパークにつぎ、世界第２位となる都市型公園の千波公園やその公園内にある、日本三大名園のひとつの偕楽園を鮮やかに彩る「梅」の２つを織り交ぜたロゴマークとしました。

# 目　次


ロゴマーク コンセプト …… 2
セレモニー …… 4
設立趣意書・入会認承証 …… 5
ご挨拶・ご祝辞 …… 7
挨拶）水戸青年会議所　第70代理事長 …… 8
祝辞）水戸JCシニアクラブ「弘道会」代表世話人 …… 9
祝辞）茨城県知事 …… 10
祝辞）水戸市長 …… 11
祝辞）大洗町長 …… 12
祝辞）水戸商工会議所　会頭 …… 13
祝辞）日本青年会議所　会頭 …… 14
祝辞）日本青年会議所　関東地区協議会　会長 …… 15
祝辞）日本青年会議所　関東地区　茨城ブロック協議会　会長 …… 16
祝辞）前橋青年会議所　理事長 …… 17
祝辞）嘉義國際青年商會　會長 …… 18
70年の歩み …… 19
名　簿 …… 43
現役会員 …… 44
70周年実行委員会 …… 48
特別会員 …… 49
物故会員・賛助企業 …… 54
編集後記 …… 55


〔表紙写真〕

**千波湖**

偕楽園の下に広がる千波湖は、原型としては約3000～5000年前、那珂川の氾濫などにより、低湿地帯に生じた浅い沼であったと考えられています。後に、江戸時代初期における水戸藩の城下町建設のなかで、水戸城の堀として位置づけられ囲い込まれることにより、千波湖が形成されました。偕楽園の借景である自然豊かな空間は、多くの観光客に親しまれています。

## The Creed of Junior Chamber International

We Believe:
That faith in God gives meaning and purpose to human life;
That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;
That economic justice can best be won by free men through free enterprise;
That government should be of laws rather than of men;
That earth's great treasure lies in human personality;
And That service to humanity is the best work of life.

我々はかく信じる
真理は人生に意義と目的を与え
人類の同胞愛は国家による統治を超越し
公正な経済は我々の自由な経済活動によってこそ果たされ
政府には人治ではなく法治が必要であり
人間の個性はこの世の至宝であり
人類への奉仕が人生最大の使命である

## JCI MISSION

To provide development opportunities that empower young people to create positive change.
青年会議所は、青年が社会により良い変化をもたらすための発展と成長の機会を提供する

## JCI VISION

To be the leading global network of Young active citizens.
青年会議所が、行動を起こす青年の国際的なネットワークを牽引する

## JC宣言

日本の青年会議所は
希望をもたらす変革の起点として
輝く個性が調和する未来を描き
社会の課題を解決することで
持続可能な地域を創ることを誓う

## 関東地区宣言

わたしたちは
日本の礎として
あらゆる未来をみつめ
多様性溢れる仲間と共鳴し
新たな価値の創造により
新時代の旗手となることを誓う

## 綱　領

われわれJAYCEEは
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し
志を同じうする者相集い力を合わせ
青年としての
英知と勇気と情熱をもって
明るい豊かな社会を築き上げよう

## いばらきJAYCEE宣言

いばらきの青年会議所は
多様な新時代（みらい）を見据え
信頼し合う仲間と共に成長し
１人ひとりが革新の核となり
「持続可能ないばらき」に挑戦する

# 設立趣意書

新日本の再建は我々青年の仕事である。更めて述べる迄もなく今日の日本の実情は極めて苦難に満ちている。この苦難を打開してゆくため採るべき途は先ず国内経済の充実であり、国際経済との密接なる提携である。その任務の大半を負っている我々青年はあらゆる機会をとらえて互に団結し自らの修養に努めなければならぬと信ずる。

既に欧米各地においては青年会議所が設立せられ、一九四六年にはこれ等の世界的連絡機関として国際青年会議所さえ設立されている。

我々は、これ等の国際機関のとの連絡は素より、青年の持つ熱と力とを以つて産業経済の実勢を究め、常に認識を新たにしてその責務の達成を期したい。

ここに県下経済の中心地、水戸に在る我々青年はその使命の極めて重大なるを思い同志相寄り水戸青年会議所の設立を企図した次第である。

# 入会認承証

第五〇号

水戸青年会議所

貴青年会議所を日本青年会議所正会員として入会を認承致します

一九五三年十一月六日

社団法人日本青年会議所
会頭　服部　礼次郎

設立総会の模様　昭和28年11月

Junior Chamber International Mito
70th ANNIVERSARY

# ご挨拶・ご祝辞

**大手門**

慶長６年（1601年）頃、水戸城主であった佐竹氏が建設したものと考えられています。

水戸城内で最も格式の高い門と称され、その規模は土塁に取り付く城門としては国内最大級と言われています。巨大な櫓門は、水戸城跡のシンボルとなっています。

# ご挨拶

公益社団法人水戸青年会議所
第70代理事長
**浅　川　宗　典**

1953年11月、戦後の爪痕が残る水戸のまちに38名の志士たちが復興への想いを胸に立ち上がり、全国で50番目の青年会議所として水戸青年会議所は誕生いたしました。以来70年、諸先輩の皆様が紡がれてきた想いを基に多くの関係諸団体、行政の方々や市民の皆様のご協力によって我々が様々な運動を続いてまいりました事に、当青年会議所を代表いたしまして心から御礼を申し上げます。

「我々青年はあらゆる機会をとらえて互いに団結し自らの修練に努めなければならぬと信ずる」

これは、水戸青年会議所の設立趣意書に記載されている一文です。2020年より未曾有の脅威となった新型コロナウイルス感染症により世界規模の社会的危機が続いています。しかし、我々青年はこのような機会だからこそ手と手を取り合い、水戸のまちやひとのために何ができるのか。一人ひとりが変化を恐れず「百折不撓」の精神で「挑戦と創造」をする事こそが自らの修練に、そして当青年会議所を支えてくださっている皆様に寄与できるものだと確信し、これからも私たちは力強い運動を展開してまいります。

最後になりますが、このような盛大な70周年を迎えられます事はご来賓、諸先輩の皆様、友好青年会議所の皆様、関係諸団体の皆様のお力添えがあっての事だと感謝申し上げます。70年という諸先輩が歩まれた歴史をメンバー一同胸に刻み邁進していく事をお誓いし、皆様には、ご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げて、ご挨拶とさせていただきます。

# 祝　　辞

水戸JCシニアクラブ「弘道会」
代表世話人
**内　田　浩　司**

この度公益社団法人水戸青年会議所が創立70周年を迎えられましたこと、水戸JCシニアクラブ・弘道会を代表してメンバーの皆様に敬意を表すると共に、心からお祝い申し上げます。

「文武不岐と遊於藝の精神のもと、水戸が天下の魁となり、日本の国家を護り将来へ発展できる優秀な人材を育成する」ことを目的に水戸藩第９代藩主徳川斉昭公が創設した旧水戸藩の藩校である弘道館。第二次世界大戦の傷跡が残り焦土と化したこのまちの未来を自らの手で創り上げていこうと、若き経済人が70年前にこの弘道館に集結し水戸青年会議所が産声をあげました。

この70年の間、水戸青年会議所では様々な運動を展開してきましたが、いつの時代も青年会議所運動の根幹にあるのは、自分たちが愛するまちづくりをする「人づくり」であります。70周年を迎えるのを機に、今一度水戸青年会議所の歴史を振り返り「変えてはいけないもの」「時代に即して変えなくてはならないもの」をしっかりと検証して今後とも人材育成に励んで頂ければと思いますし、メンバー同士切磋琢磨し一切の妥協を排し運動展開することで成長し続ける青年会議所メンバーこそが、コロナ禍と今後のことだけでなく様々な課題で疲弊した世の中に明るい光を照らすリーダー的存在になると確信しております。是非とも今までの常識に捕らわれずメンバー同士「知恵」を出し合って明るい豊かな社会の構築に励んで頂きたいと思います。もしその過程で困難に直面したときには700名を超すシニアクラブメンバーがいます。シニアクラブメンバーの力を信じて頼って頂ければと思いますし、お力になることをここにお約束致します。

結びになりますが、本年70周年を迎えるにあたり、本日まで様々なご支援ご協力を頂きました関係諸団体の皆様に水戸JCシニアクラブを代表して心から深く感謝を申し上げますとともに今後とも素晴らしい運動展開を続ける現役メンバーにエールを送り祝辞とさせて頂きます。

# 祝　　辞

茨城県知事
**大井川　和　彦**

この度、公益社団法人水戸青年会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴会議所におかれましては、1953年の創立以来70年の長きにわたり、日本青年会議所の基本理念である「明るい豊かな社会の実現」に向け、まちづくりや青少年の健全育成、人材育成などに積極的に取り組まれ、地域社会の発展に大きく貢献してこられました。

これもひとえに、浅川理事長をはじめとした役員、会員の皆様方のご尽力の賜であり、心から敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

人口減少や気候変動問題、AIの進歩による社会構造の変化など、時代は今、これまでとは全く状況が異なる、予測困難な「非連続の時代」を迎えております。

県といたしましては、この困難な時代を乗り越えるため、新たな県総合計画に基づき、茨城の潜在能力を引き出してきたこれまでの改革路線のもと、意欲ある経営者による新ビジネスの創出等を支援するなど、「新しい茨城」づくりに向けたチャレンジを常に進化させながら加速してまいります。

そうした中、地域の若きリーダーである皆様方が、それぞれに地域の牽引役となって、地域の活性化や魅力発信にも積極的に取り組まれていることは、誠に心強い限りです。引き続き、「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現に、ともに挑戦していただきますようお願い申し上げます。

結びに、創立70周年を契機とした公益社団法人水戸青年会議所の益々のご発展と、会員の皆様方のなお一層のご健勝、ご活躍を心からお祈りいたしまして、お祝いの言葉といたします。

# 公益社団法人水戸青年会議所 70周年記念に寄せて

水戸市長
**高　橋　　靖**

このたび、公益社団法人水戸青年会議所が創立70周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、1953年の創立以来、「明るい豊かな社会」の実現を目指し、水戸に対する熱い想いと使命感を活動の原点として、積極的な社会貢献活動にご献身いただいておりますことに、深い敬意と感謝を申し上げます。

公益社団法人水戸青年会議所におかれましては、歴代の理事長を中心として、「市民が誇りに思えるまちづくり」、「挑戦と感動のひとづくり」などを目指すまちづくりとして掲げ、未来をリードする子どもたちの健全育成や防災・減災の推進につながる活動を展開いただくなど、魅力ある水戸の創造に向けた取り組みが進められていることと存じます。

私は、水戸に暮らす全ての人が安心して暮らし、幸せを感じられるまち、そして、時代とともに移り変わる価値観や複雑・多様化する市民ニーズにも柔軟に対応し、持続的に発展するまちの実現に向けて、水戸の魅力を発信しながら、市民、事業者、関係団体と行政との協働により取り組んでまいります。今後とも、我々行政の良きパートナーとして、市政へのご協力、ご助言をいただければ幸いでございます。

結びに、公益社団法人水戸青年会議所が創立70周年を契機としまして、今後ますますご発展されますことと、会員の皆様の更なるご活躍とご健勝をお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

# 祝　　辞

大洗町長
**國　井　　豊**

公益社団法人水戸青年会議所の創立70周年、誠におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

水戸青年会議所は、1953年の創立以来、70年の永きにわたり斬新なアイデアと熱意をもって変化を恐れず、様々な活動に取り組まれ、地域社会・地域経済の発展に貢献してこられました。

歴代の理事長をはじめとする役員の皆様、会員の皆様の積極果敢な姿勢が脈々と受け継がれ、誇りあるまちづくりをけん引されていることに深い敬意を表します。

水戸市と大洗町は、生活圏はもとより、観光においても深く結びついており、大洗海上花火大会の会見を東京で行った際に「水戸を離れて東に三里、波の花散る大洗からやってまいりました」とごあいさつさせていただきました。県都水戸の知名度を様々な場面で感じております。

国際都市を目指す水戸市と益々連携を強化し、一体的な地域として共に発展していくことを目指してまいります。

大洗の名を冠した青年会議所が解散した現状は寂しいところですが、大洗町の事業者が水戸青年会議所の会員として活動させていただくことは、大洗町にとって得るものが多く、大きなプラスになるものと確信しております。

結びに、公益社団法人水戸青年会議所が、70周年をきっかけとして、今後も更なるご発展と会員各位の一層のご活躍を祈念し、お祝いのメッセージといたします。

# 創立70周年によせて

水戸商工会議所
会頭
**内　藤　　学**

公益社団法人水戸青年会議所創立70周年、誠におめでとうございます。水戸商工会議所を代表してお祝い申し上げます。日頃より様々な事業等で連携を頂いております。特に水戸商工会議所青年部とは切磋琢磨する仲間であり、その親交に改めて感謝申し上げます。遡る事70年前、諸先輩方の熱い思いで水戸青年会御所は設立されました。以来、水戸青年会議所は政策提言団体として、人材の輩出と共に、具体的な行動を通じて水戸の発展に大いに貢献されてきました。唯一無二のその歴史は輝かしいものであります。

私も1990年に入会し、多くの先輩方・仲間に接することで人生が大きく変わりました。『JCは人生最後にして最良の大学である』依頼事は断らず、利他の心を持ち、与えられた役割・チャンスを積極的に掴みにいき、そして後輩を育てる。そんな精神文化が水戸JCにはあると思います。自分があるのも、全て水戸JCのおかげであると言っても過言ではなく、感謝の思いしかありません。

今年、水戸商工会議所の役員が中心となり、水戸東照宮の宮下銀座に落語の常設小屋「水戸みやぎん寄席」を作りました。水戸に笑いで賑わいを。メンバーは皆水戸JCのOBです。地方には常設寄席は成り立たない。そんな常識に挑戦しています。本年度浅川理事長のスローガンも、まさに「挑戦と創造」です。ささやかながら奮闘する姿が少しでも刺激になれば幸いです。

結びに、創立70周年記念事業『MITOプラットフォーム』の成功、水戸青年会議所の益々のご発展と、メンバー皆さんのご多幸を祈念しまして、ごあいさつに代えさせていただきます。本日は大変おめでとうございました。

# 祝　　辞

公益社団法人日本青年会議所
第71代会頭
**中　島　　土**

公益社団法人水戸青年会議所の皆様、創立70周年、誠におめでとうございます。

本年度、浅川宗典理事長のもと「挑戦と創造」を掲げられ、社会課題に対し、多くの持続可能な仕組みをつくる運動を展開される事と存じます。

これまで長年に渡り、日本青年会議所へ、素晴らしい人財をご輩出下さっておりますことに衷心より感謝申し上げますとともに、青年会議所運動を通して、まちに多くの価値を創出して来られたことに対しまして、心より敬意を表します。

日本青年会議所と致しましては、「まちにより良い変化をもたらし愛が溢れる国をつくる」を基本理念として掲げ、各地青年会議所と手を携え、皆様のまちをより良くするための運動を展開してまいります。引き続き深いご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、私共を大いにご活用頂ければ幸いです。

結びに、70周年の大切な節目の年に、貴青年会議所のさらなるご発展、並びに地域において素晴らしい運動の成果を出されること、さらに、現役会員、先輩諸氏の皆様にとって実り多き一年となられますことを心よりご祈念申し上げます。

中島 土

# 祝　　辞

公益社団法人日本青年会議所
関東地区協議会　第68代会長
**坂　倉　　賢**

公益社団法人水戸青年会議所の皆様、創立70周年をお迎えになられました由、心よりお慶び申し上げます。

地域のために行動し続け、70年という輝かしい歴史を積み重ねてこられたことに敬意を表します。

水戸青年会議所の皆さまにおかれましては、昨年度、主管青年会議所として関東地区大会を大成功に導いて頂き、本年度においても関東地区協議会の運動に多大なるお力添えを賜っております。心より感謝申し上げます。

本年度の関東地区協議会は、「共感の連鎖が人を惹きつけ、地域が共創する関東の確立」を基本理念として、関東地区協議会だからこそ取り組むべき運動を進めてまいりました。皆様におかれましても、今後とも是非関東地区協議会を有効にご活用いただき、個と個、組織と組織において157LOMのネットワークを創る機会に出来れば幸いに存じます。

組織にとって節目の年は、過去を振り返り未来を描くための大切な時間であると考えます。常に前を向いて山を登り続けていると、ときに歩んできた道のりが見えづらくなります。そんなとき、一旦背中を振り返り、歩んできた道を改めて確かめることで、遥かなる山頂に向かってさらに力強く進むことができると考えます。

浅川理事長が掲げられる「挑戦と創造」というスローガンの基、70周年という節目が新たな一歩を踏み出す機会となり、次の80周年へ向けて必要な運動が力強く展開され、貴青年会議所の益々のご隆盛を心より祈念致します。

# 祝　　辞

公益社団法人日本青年会議所
関東地区　茨城ブロック協議会
第51代会長
**唐　鎌　正　光**

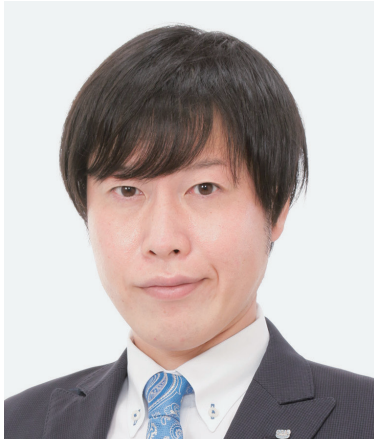
この度、公益社団法人水戸青年会議所が本年で創立70周年を迎えられましたことに公益社団法人日本青年会議所　関東地区　茨城ブロック協議会を代表して心よりお慶び申し上げます。

貴青年会議所は、1953年の創立以来、地域と未来への想いを胸に伝統と歴史を脈々と築き上げ、これまで70年という永きにわたり「明るい豊かな社会」の実現に向けて、貴青年会議所が紡いでこられました歴史とご功績、先輩諸氏から連綿と受け継いでこられました高い志に深く敬意を表します。

貴青年会議所におかれましては、浅川理事長の下「挑戦と創造」をスローガンに掲げ、様々な趣向を凝らし力強いリーダーシップを発揮しながら、地域や市民の皆様に効果的な運動を発信されており、どのような現況にも屈せず果敢に運動に取り組む姿勢は県内各地の青年会議所に勇気を与えていただいています。

また、今後とも茨城県内各地青年会議所の先頭に立ち、社会へ大きなインパクトを与え、市民への意識変革をもたらし「明るい豊かな社会」を実現すべくさらなる運動を展開されますことを心よりご期待申し上げます。

結びに、創立70周年を契機に５年後、10年後、その先の未来に向けて、貴青年会議所と会員の皆様が、より一層の飛躍を遂げられますこと、そして、貴青年会議所の益々のご発展と先輩諸氏、並びに現役会員の皆様の益々のご活躍をご祈念申し上げましてお祝いの言葉とさせていただきます。



# 祝　　辞

公益社団法人前橋青年会議所
第73代理事長
**福　井　謙　一**

公益社団法人水戸青年会議所創立70周年の佳節を心よりお喜び申し上げます。

そして、今日に至るまで、明るい豊かな社会の実現を目指して青年会議所運動に尽力されてこられた先達のご功績に対して心からの敬意を表すとともに、社会課題解決や地域社会の発展に向けて日々活動を展開されている浅川理事長を始めとする現役メンバーの皆様に心よりお祝いを申し上げます。

今、世界情勢は大きく変化し、緊迫しながら生きる時代が到来しようとしています。私たち青年会議所の責務は、政治を動かし社会を明るく変革するために運動を起こすことです。そして、揺るぎない信念と志を持ち、失敗を恐れず常に新しいことに挑戦していくことで、その結果として私たちと地域の未来は明るく形成されていくものであると信じています。

誰もが幸せに住み暮らせる社会を実現することは簡単ではありません。ヴィジョンと現実には明確なギャップがあります。この差異を縮めることで、まちは良くなります。そして、地域に存在する真の課題を調査研究し、課題解決に向けて関係諸団体とパートナーシップを結び、連携しながらまちに住み暮らす人々のニーズを満たしていくことがまちづくりの第一歩だと考えます。

スローガン「挑戦と創造」を掲げられた貴青年会議所が、新時代の水戸を切り拓くリーダーとして、益々のご発展とご活躍とともに、メンバーの皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げてお祝いの言葉に代えさせていただきます。

# 祝　　辞

嘉義國際青年商會
第60代會長
蔡　　鈞　　安

水戸青年会議所70周年記念式典に対し、私が嘉義國際青年商會の代表として謹んでお慶び申し上げます。

水戸青年会議所の皆様、この度は創立70周年、誠におめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の影響でお会いする事ができませんでしたが、私たちの友情は永久不滅と信じております。

『挑戦と創造』は今年の水戸青年会議所のスローガンです。水戸青年会議所は強い志とその価値を発揮し、世界情勢の厳しい変化のなか、未知のことに挑戦し続け未来を創造していきます。

青年会議所運動は地域とのコミュニティから成り立っており、水戸青年会議所もまた地域に重要な役割を担っていると信じております。私共も水戸青年会議所があったからこそ、我々も水戸についてより知ることができました。さらなるご活躍期待しております。

今年度の嘉義青年会議所のスローガンは「风华绝代一甲子,历久弥新千万年」です。創立60周年を迎えます。私たちの友情は永久不滅であり、ますます発展していくことと信じております。

未だ猛威をふるう新型コロナウイルス感染症が終息した暁には、皆様にお会いできることを心から期待しております。

Junior Chamber International Mito
70th ANNIVERSARY

# 公益社団法人水戸青年会議所 70年の歩み

**弘道館**

天保12年（1841年）８月、水戸藩の藩校として第９代藩主徳川斉昭により創設されました。藩士に文武の修練他に医学、蘭学、天文学、歌学など幅広い学問をとり入れた諸藩に類の無い総合大学を立案しました。昭和27年（1952年）３月には国の特別史跡の指定を、昭和39年（1964年）５月には正庁・至善堂・正門附塀の建造物について国指定重要文化財の指定を受けました。

# 1953年－1962年

初代－第10代

（昭和28年－昭和37年）

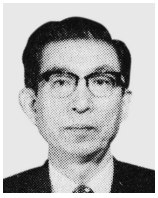


## 昭和28年11月弘道館で創立。「天下の副将軍としての気概」の10年

スタートメンバーは、38人、10年間の会員数の変動はほとんどない。エリートのサロン的な集まりだった。昭和31年には関東地区会員大会を誘致している。国際児童画展の主催（昭和34年）や、ブロンズ像の寄贈（昭和40年）など、芸術的な社会貢献を重視する伝統は創成期にはじまっていた。「盃の中の友情」や「天下の副将軍としての気概」といった言葉が精神的基盤として活動を支えていた時代。

### 1953年11月～1954年6月（昭和28年11月～29年6月）

メンバー／38名



初代理事長
碓井　甲一

**主な活動／**
- 水戸青年会議所創立
- 水戸学ゆかりの地弘道館において創立総会を挙行。第50番目のローカルJCとして日本JCに加入
- 経済講話会

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・朝鮮戦争終結<br>・NHKテレビ放送開始<br>・ラジオ南日本放送開始<br>・奄美群島日本復帰 | ・11月八卦堂復元工事竣工 |

### 1954年7月～1955年6月（昭和29年7月～30年6月）

メンバー／38名

第２代理事長
佐久間　彰

**主な活動／**
- 工場見学会　茨城大学学長を招いての懇談会を開く
- 野球大会、スキー会などJCの友情開発の行事事業

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・死の灰事件<br>・首相に鳩山一郎<br>・鹿児島市立美術館完工 | ・公共下水道事業に着手（事業認可区域447ha）<br>・八幡宮本殿が、国の重要文化財に指定される |

### 1955年7月～1955年12月（昭和30年7月～同年12月）

メンバー／39名

第３代理事長
吉久保幸男

**主な活動／**
- 養老院慰問
- バザーの開催等対外的な活動始まる

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・自由民主党結成 | ・隣接村、水戸市に合併（上大野村、柳河村、渡里村、吉田村、酒門村、河和田村の一部）<br>・人口10万人を超える。<br>・新市庁舎、南三の丸に竣工、仮庁舎から移転 |

### 1956年（昭和31年）

メンバー／47名

第４代理事長
吉久保幸男

**主な活動／**
- ８月、第４回関東地区会員大会を挙行

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・日ソ共同宣言<br>・国連加盟決定<br>・首相に石橋湛山<br>・桜島大爆発 | ・水戸駅、民衆駅として竣工 |

## 1957年（昭和32年）

メンバー／37名

第５代理事長
**金澤　正一**

**主な活動／**
- 都市美化に対する継続的運動始まる
- 念願の広報誌創刊号
- 芦野宏シャンソンリサイタルを開きJCI世界会議の基金とする
- 東京でJCI世界会議開かれる。会員多数参加

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・なべ底景気<br>・首相に岸信介<br>・鴨池空港開港 | ・飯富村、国田村、水戸市に合併。<br>・国民健康保険実施 |

## 1958年（昭和33年）

メンバー／36名

第６代理事長
**岡崎宗一郎**

**主な活動／**
- 都市美化に対する座談会等開催
- 国際児童画展開催
- 土浦JCをスポンサーその前途を祝す

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・警職法改正をめぐる混乱<br>・NHK－TV開局 | ・赤塚村、水戸市に合併。<br>・大水戸市復興祭実施<br>・偕楽園の好文亭の復元工事がされて完成する |

## 1959年（昭和34年）

メンバー／40名

第７代理事長
**竹内　成一**

**主な活動／**
- ブロンズ像建設基金獲得のため千宗興氏を招いて茶会を開く
- また、ザ・ピーナッツショーを開き成功を収めた
- 第二回国際児童画展を開く
- 高校弁論大会優勝者を表彰

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・メートル法施行<br>・MBC－TV開局 | ・水戸市歌制定<br>・大水戸市建設基本計画（10か年計画）決まる。<br>・千波公園建設事業始まる。<br>・水戸市史編さん始まる。 |

## 1960年（昭和35年）

メンバー／40名

第８代理事長
**柴　　次男**

**主な活動／**
- ブロンズ像除幕式後藤清一先生作「若き翼」茨城会館前に建設
- 年間を通し「労務管理」の問題に取り組み、５回にわたり研究会を開く

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・民主社会党結成<br>・首相に池田勇人 | ・枝内取水塔・浄水場ができる |

## 1961年（昭和36年）

メンバー／37名

第９代理事長
**中野喜久夫**

**主な活動／**
- 現在の形の「JCニュース」第一号発刊
- メンバー拡大を図る
- 道徳問題、青少年問題、経営問題等の研究課題に取り組む
- 経営講座を開く
- 金澤正一君日本JC理事及び関東地区協議会会長に選任
- ブロンズ像借金返済

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・農業基本法、防衛２法改正<br>・鹿児島市郡元町で大火、751棟全焼 | ・水戸の七夕黄門まつりを開催する<br>・常磐線上野～勝田間電化完成<br>・首都圏整備法による水戸・勝田市街地開発区域に指定 |

## 1962年（昭和37年）

メンバー／42名

第10代理事長
**大間　順三**

**主な活動／**
- 創立10周年記念式典挙行
- 小学生のための交通安全巡回教室開催
- 市内９小学校を巡回。交通安全のための指導を行う。
- 青少年防犯灯を千波湖畔に建設

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・内之浦町の東大宇宙観測所で初のロケット打ち上げ成功 | ・下市土地区画整理事業（第１工区）に着手 |

# 1963年－1972年

（昭和38年－昭和47年）

第11代－第20代

70th Anniversary JCI MITO

## 拡大成長の10年。

高度経済成長の波に乗り、この10年で会員数は一気に２倍以上に増える（52人→116人）。20周年の昭和47年にはすでに今の人数とほぼ変わらない。積極的に県内の新設LOMのスポンサーになり地域への影響力を高める一方、市民アンケート（昭和45年）や献血連合会の設立（昭和46年）など活動の公共性が強まった。昭和43年に晴れて社団法人化。運動推進の基礎としてCD（社会開発計画）の手法が取り上げられた。

### 1963年（昭和38年）

メンバー／52名

第11代理事長
小林　一彦

**主な活動／**
- さらに都市化のための基本づくり始まる
- アイジョージショー開催
- 小学生のための交通安全巡回教室開催
- 全国優秀ローカルJC賞受賞
- 優秀広報誌賞受賞

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・原子力研究所で発電成功 | ・「茨城県民の歌」制定<br>・茨城放送が設立されて、本放送を開始 |

### 1964年（昭和39年）

メンバー／52名

第12代理事長
川又　銀蔵

**主な活動／**
- 経営に関するセミナーの開催
- 鹿行開発に着目、研究会を重ねる
- 聾唖学校に対しての安全指導を行う

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・東京オリンピック大会<br>・首相に佐藤栄作 | ・駅南土地区画整理事業始まる。 |

### 1965年（昭和40年）

メンバー／85名

第13代理事長
佐藤　勝義

**主な活動／**
- 社会福祉委員会によるCD計画着手。後年のアンケートに役立つ
- メンバーの拡大を図る
- 中野喜久夫君、日本JC常任理事及び関東地区協議会会長に選任
- 関東地区広報委員会　サービス委員会W受賞

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・名神高速道路開通<br>・鶴田ダム完成 | ・市内電車廃止される。<br>・福井県敦賀市と姉妹都市提携を結ぶ |

### 1966年（昭和41年）

メンバー／90名

第14代理事長
吉田　光男

**主な活動／**
- アジア問題、国際問題等、海外問題へ目を向く
- 独立家屋としての事務局を設置
- 15周年記念式典に対する準備始まる
- 笠間JCをスポンサー
- 全国優良広報誌賞受賞
- 関東地区優秀ローカルJC賞受賞

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・休日「敬老の日」設定 | ・県民文化センター完成<br>・千波大橋開通 |

## 1967年（昭和42年）

メンバー／98名

第15代理事長
**鯨岡　昭雄**

**主な活動／**
- 創立15周年記念式典挙行
- 関東地区会員大会を主管
- 第１回少年の集い
- 栃木茨城ブロック合同夏期セミナー開催
- 立志にちなんで少年を励ます「水戸市少年の集い第一回」始まる
- 日立JCをスポンサー
- 水戸JC法人化のための準備始まる

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・いたいいたい病問題化<br>・鹿児島市与次郎ケ浜埋め立て、水搬送開始 | ・木村傳兵衛　14代市長となる。 |

## 1968年（昭和43年）

メンバー／98名

第16代理事長
**志村　優**

**主な活動／**
- 和を基調とした創始の精神に基づき70年代の指導としてのトレーニングを展開
- 茨城放送にてJCアワーを担当
- 第２回少年の集い
- 地域への密着を図る
- 社団法人化になる

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・GNP世界２位<br>・いざなぎ景気 | ・下市土地区画整理事業（第２工区）に着手、交通安全都市を宣言<br>・彦根市と親善都市提携 |

## 1969年（昭和44年）

メンバー／111名

第17代理事長
**冨山　洋一**

**主な活動／**
- 統一事業としてのCD計画の推進
- 総会において今後水戸JCの継続事業として全員が決意
- 第３回少年の集い
- 高萩JCをスポンサー
- 敦賀JCと姉妹JCの盟約を結ぶ

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・東名高速道路開通 | ・明治百年記念事業として森林公園建設に着手<br>・水戸市総合計画（12か年計画）決まる。 |

## 1970年（昭和45年）

メンバー／112名

第18代理事長
**鬼澤　實**

**主な活動／**
- 「住みよい水戸をつくる運動」の名のもとCD計画をより推進
- 市民アンケートの配布
  サンプリング5,000　回収3,000
- 第４回少年の集い
- 冨山洋一君　栃茨・茨ブロック協議会長に選任
- 北茨城JC生まれる

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・日航機よど号ハイジャック<br>・内之浦から人工衛星「おおすみ」打ち上げ成功<br>・与次郎ケ浜工事完工 | ・首都圏整備法による水戸・日立都市開発区域に指定<br>・水戸市民憲章制定 |

## 1971年（昭和46年）

メンバー／111名

第19代理事長
**加藤　啓進**

**主な活動／**
- アンケート発表市民集会を開く
- JCの６つの提言を行う
- 第５回少年の集い
- 提言による献血運動に取り組む
- 水戸JC献血会生まれる
- 那珂湊JCサブスポンサー

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・ドルショック<br>・変動為替相場制移行を決定 | ・茨鉄線　赤塚～上水戸間を最後に廃止<br>・消防庁舎竣工、市民プール完成<br>・水戸地方広域市町村圏（４市８町５村）設定される。 |

## 1972年（昭和47年）

メンバー／116名

第20代理事長
**瀬谷　博次**

**主な活動／**
- 20周年記念式典挙行
- 献血プロジェクトチームいばらき賞を受賞。献血のための基金づくりのため「布施明ショー」開催。かつてのブロンズ像水戸市役所前庭に移す
- 第６回少年の集い
- 水戸市民による「水戸献血連合会」発足
- 常陸太田JCをスポンサー

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・沖縄本土復帰<br>・首相に田中角栄<br>・新鹿児島空港が溝辺町にオープン<br>・平川動物園がオープン | ・木村市長急逝、和田祐之介　15代市長となる。<br>・市庁舎、市民会館、水道庁舎駅南に竣工、移転<br>・水戸地方広域市町村圏計画（昭和47年度～55年度）決まる。<br>・水戸・日立大規模都市建設基本構想決まる。 |

# 1973年－1982年

（昭和48年－昭和57年）

第21代－第30代

70th Anniversary JCI MITO

## 社会問題への取り組みの10年

拡大成長はとどまるところを知らず、30周年の昭和57年には会員数は167人とのその時期のピークをむかえた。県内新設LOMのスポンサードも積極的に行い、ブロック内の影響力を強めた。同時に日本や関東地区への出向者も増加する。昭和50年にはCDの市民アンケートに基づき、現在も続いているちびっ子広場が始まり、地域社会のネットワークが広がった。戦後生まれに主導権が移り、街づくりの理念が確立されたのもこの時期。昭和53年からは交通安全を重要な社会的テーマとしてとりあげた催事を行ったり、30周年では福祉問題に取り組むなど、社会問題に積極的に関わることが重要な意味を持つようになった。

### 1973年（昭和48年）

メンバー／122名

第21代理事長
佐藤　安彦

**スローガン／**
若さで挑戦明日の水戸
熱意が創る最適社会

**主な活動／**
- CDサイクルとしての献血終了
- AOY計画スタート
- 第７回少年の集い
- 勝田JCスポンサー
- 水戸献血連合会の組織拡大
- 献血思想の普及宣伝
- 新鮮血供給問題の解決

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・オイルショック | ・下市で毎月１日歩行者天国の実施 |

### 1974年（昭和49年）

メンバー／123名

第22代理事長
木村傳兵衛（光男）

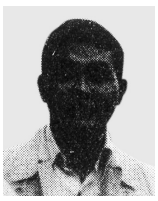
**スローガン／**
友情の和を広げよう
いばらき国体を成功させよう

**主な活動／**
- クリーンライフ水戸運動の展開
- AOY計画継続
- 第８回少年の集い
- 国体前夜主管
- ブロック会員大会主管
- 茨城ブロックに献血連絡会誕生
- ヤングジャンボリーへの協力
- 瀬谷勲第三代茨城ブロック長

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・ルバング島で元日本兵小野田寛郎発見<br>・首相に三木武夫 | ・市民体育館竣工<br>・水戸駅南口開設<br>・第29回国民体育大会（茨城国体）開催<br>・総合老人保健センター「ひぬま荘」完成<br>・公共下水道事業区域の拡大をはかる。（796.3haとする） |

### 1975年（昭和50年）

メンバー／116名



第23代理事長
中込　佶

**スローガン／**
CD計画への再挑戦
「青年らしさ、JCらしさ」

**主な活動／**
- ６か月仮入会制度実施
- 第９回少年の集い
- 第１回ちびっ子広場
- 産業祭お祭り広場実施（プロジェクト）
- 石岡JCをスポンサー
- 関東地区大会にて最優秀教育問題賞　優秀ローカルJC賞、受賞
- 各ロムに献血連合会誕生

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・山陽新幹線博多まで開通<br>・種子島から人工衛星「きく号」打ち上げ成功 | ・文化福祉会館完成<br>・少年自然の家オープン |

### 1976年（昭和51年）

メンバー／119名

第24代理事長
木村　成文

**スローガン／**
青年は大いなる河の如く
次なる四半世紀にむかって

**主な活動／**
- 事務局を三の丸ホテル内に移設
- 第10回少年の集い
- 第２回ちびっ子広場
- 同好会誕生
- 関東地区大会にて交通問題優秀賞受賞

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・ロッキード事件表面化<br>・首相に福田赳夫 | ・水戸市第２次総合計画（昭和51年度～60年度）決まる。<br>・人口20万人を超える。（昭和51年11月１日、202,213人、県下第１位となる。）<br>・アメリカ・カリフォルニア州のアナハイム市と国際親善姉妹都市締結 |

## 1977年（昭和52年）

メンバー／122名

第25代理事長
城戸　義明

**スローガン／**
25年の歴史と心をみつめ、興そう新しい街づくりの討論を

**主な活動／**
- ９月18日創立25周年記念式典挙行
- 第11回少年の集い
- 第３回ちびっ子広場
- 日本JCじゃがいもクラブ東日本地区大会主管
- 50号バイパス問題に取り組む
- RH（－）友の会の発足準備

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・日航機ハイジャック<br>・台風９号沖永良部島を直撃 | ・斎場竣工<br>・南消防署竣工<br>・双葉台団地入居始まる。 |

## 1978年（昭和53年）

メンバー／132名

第26代理事長
打越　芳男

**スローガン／**
徹底した話合いを通して、お互いの心のふれあいを求め、さわやかなJC運動を展開しよう

**主な活動／**
- 第12回少年の集い
- 第４回ちびっ子広場
- 第１回交通安全フェスティバル

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・日中平和友好条約調印<br>・首相に大平正芳 | ・教育研究所開設 |

## 1979年（昭和54年）

メンバー／143名

第27代理事長
宮本　　誠

**スローガン／**
みんなの総意で80年代に橋を架けるJC運動の底流をつくりだそう！

**主な活動／**
- JC会館（事務局）実現－産業会館、第４回業種別全国大会開催
- 第13回少年の集い（最終回）
- 第５回ちびっ子広場
- 第２回交通安全フェスティバル
- 第１回那珂川いかだ下り

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・東京サミット開催 | ・常磐自動車道水戸市区間工事着手 |

## 1980年（昭和55年）

メンバー／148名

第28代理事長
五條　史男

**スローガン／**
水戸の街を我々の手で作りあげよう

**主な活動／**
- 街づくり委員会設置する
- 第６回ちびっ子広場
- 第３回交通安全フェスティバル
- 第２回那珂川いかだ下り
- 第１回テレフォン相談

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・自動車生産台数1000万台で世界一<br>・首相に鈴木善幸<br>・鹿児島市人口50万人 | ・市制施行90周年記念事業として市立図書館、市立博物館、市民野球場竣工 |

## 1981年（昭和56年）

メンバー／151名

第29代理事長
岩上　一宇

**スローガン／**
楽しいさわやかなJC活動

**主な活動／**
- 優秀交通開発推進賞受賞、交通開発推進賞特別賞受賞
- 第７回ちびっ子広場
- 第４回交通安全フェスティバル
- 第３回那珂川いかだ下り
- 第２回テレフォン相談
- 関東地区国際基金始まる
- 福祉の街づくりアンケート調査始まる

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・中国残留日本人孤児、初の来日<br>・九州自動車道、鹿児島北・宮崎間開通 | ・新水戸地方広域市町村圏計画（昭和56年度～65年度）決まる。<br>・公共下水道事業区域の拡大をはかる。（1,854.3haとする） |

## 1982年（昭和57年）

メンバー／167名

第30代理事長
綿引　　忠

**スローガン／**
学ぼう30年の歴史
切り拓こう明日のJC

**主な活動／**
- 創立30周年記念式典挙行、室制度導入する
- 30周年記念事業、福祉の街づくり提言書発行、茨城県ばら賞受賞
- 第８回ちびっ子広場
- 水戸献血連合会10周年迎える
- 第４回那珂川いかだ下り、増水のため中止になる
- 第３回テレフォン相談

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に中曽根康弘<br>・高校総体鹿児島市で開催、皇太子ご夫妻と礼宮さまがご臨席<br>・桜島南岳の火山灰が鹿児島市を襲う | ・国道50号水戸バイパス建設着工<br>・上水道第５期拡張事業として椿川ダム建設着工<br>・見川クリーンセンター稼働<br>・森林公園恐竜の森開設<br>・国道118号文京橋開通 |

# 1983年－1992年

第31代－第40代

（昭和58年－平成４年）

70th Anniversary JCI MITO

## まちづくりの10年

会員の拡大傾向に歯止めがかかり、まちづくりへの考えを深めた内省的な10年。昭和52年の地域ビジョンを皮切りに、地域の未来を論じ政策提言を行うことが重要な活動テーマに。五軒小や貨物ヤードなどの跡地利用に対する積極的な提言や、新しい教育システムの提言（ニュー弘道館構想）は現在も評価が高い。平成３年にはまちづくり大賞を創設、地域開発に積極的に関与した。地域ビジョンの中でも文化・教育問題のウエイトが高まり、40周年には水戸芸術館で黒斎子供演劇祭を主催（のちに水戸子供演劇アカデミーとなり水戸市に移管された。）、ハードからソフトに力点が移りはじめた。

### 1983年（昭和58年）

メンバー／153名

第31代理事長
**飯島　真一**

**スローガン／**
切り拓こう活力ある地域の時代

**主な活動／**
- 水戸から魁戸へ100％例会の提唱
- DF調査の実施
  (1)水戸市の現状と都市環境
  (2)水戸市の課題と都市開発
  (3)水戸市の未来と都市形成
- 第９回ちびっ子広場
- 第５回那珂川いかだ下り

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・任天堂「ファミコン」発売<br>・県歴史資料館「黎明館」オープン | ・勤労身体障害者教養文化体育施設「水戸サン・アビリティーズ」開設<br>・国田大橋、国道123号飯富バイパス開通 |

### 1984年（昭和59年）

メンバー／149名

第32代理事長
**鈴木　泉**

**スローガン／**
今こそルネッサンス創ろう
新しい日本の時代

**主な活動／**
- 五軒小学校跡地利用のプロジェクトチームの編成。市に提言する。（MITO TOWERとふれあい広場について）
- 第10回ちびっ子広場
- 第６回那珂川いかだ下り

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・グリコ・森永脅迫事件<br>・南薩鉄道廃止 | ・常磐自動車道水戸I.C.供用開始<br>・小吹清掃工場竣工<br>・水戸駅橋上駅舎・自由通路供用開始<br>・佐川一信　16代市長となる。 |

### 1985年（昭和60年）

メンバー／147名

第33代理事長
**前田　真一**

**スローガン／**
新時代への挑戦
問い直そう青年の役割

**主な活動／**
- ２月第１例会　三笠宮寛仁親王殿下講演
- EXPO'85 つくば会議
- LOM拡大～大洗JCをサブスポンサーに～
- 第11回ちびっ子広場
- 第７回那珂川いかだ下り

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・日航機墜落事故死者520人<br>・桜島爆発で鹿児島市にどか灰<br>・鹿児島市電、上町・伊敷線廃止 | ・常磐自動車道　首都高速道と直結<br>・鹿島臨海鉄道「大洗鹿島線」開通<br>・大洗港―北海道間カーフェリー就航<br>・国際科学技術博覧会（「科学万博－つくば'85」）開催される。<br>・水戸駅ビル竣工<br>・核兵器廃絶平和都市宣言 |

### 1986年（昭和61年）

メンバー／151名

第34代理事長
**櫻場　誠二**

**スローガン／**
おこせ青年の風
つくり変えよう　人　まち　地球

**主な活動／**
- 茨城ブロック会員大会主管
- 関東地区協議会　会長に飯島真一君輩出
- 第12回ちびっ子広場
- 100％例会達成
- 第８回那珂川いかだ下り

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・東京サミット開催<br>・三原山大噴火 | ・国道50号水戸バイパス開通（暫定２車線）<br>・椿川ダム竣工、たん水始まる。<br>・清掃工場の余熱利用として温水プール・体育館完成<br>・快適環境整備都市（アメニティ・タウン）に指定される。<br>・水戸市第３次総合計画（昭和61年度～70年度）策定<br>・台風10号の大雨により、那珂川などが氾濫。 |

## 1987年（昭和62年）

メンバー／151名

第35代理事長
**鬼澤　正明**

**スローガン／**
受け止めよう世界の心
創ろう新しい日本の生き方

**主な活動／**
・35周年記念大会～地域ビジョンの発表～
・定款諸規定の改正
・第13回ちびっ子広場
・第９回那珂川いかだ下り、閉幕

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・国鉄分割民営化、JR発足<br>・首相に竹下登 | ・水戸市立競技場開設<br>・国鉄民営化、JR東日本水戸運行部等発足<br>・水戸市植物公園開園<br>・防災行政無線運用開始<br>・情報公開制度始まる。<br>・茨城県水戸合同庁舎駅南に開設 |

## 1988年（昭和63年）

メンバー／155名

第36代理事長
**大久保博之**

**スローガン／**
今　変革のとき
自ら拓こう新時代

**主な活動／**
・貨物ヤード跡地の提言
・第14回ちびっ子広場

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・青函トンネル開通<br>・瀬戸大橋開通 | ・電線類地中化始まる。（南町、建設省）<br>・長者橋（市道飯富172号線、渡里229号線）開通<br>・赤塚出張所開設<br>・常磐高速バス運行始まる。<br>・茨城県近代美術館オープン |

## 1989年（平成元年）

メンバー／143名

第37代理事長
**川﨑　　洋**

**スローガン／**
地球時代のデッカイしあわせ
つくりかえよう人間と地域（ひととまち）

**主な活動／**
・茨城ブロック協議会
会長に大久保博之君輩出
・市制100周年記念事業
千波湖まつり
・市民コンサート

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・昭和天皇没、皇太子明仁親王即位<br>・新年号「平成」決まる。<br>・消費税スタート<br>・首相に宇野宗佑・海部俊樹<br>・鹿児島商船の超高速船トッピーが就航 | ・市制施行100周年<br>・市制施行100周年記念事業および記念式典を実施。<br>・水戸市文化栄誉賞制定<br>・新万代橋、県内初の斜張橋式で着工（茨城県） |

## 1990年（平成２年）

メンバー／150名

第38代理事長
**浅川　清司**

**スローガン／**
「我が街への愛」
確かめよう！水戸らしさ

**主な活動／**
・関東地区協議会　会長に大久保博之君輩出
・芸術館意見広告
・第15回ちびっ子広場
・地域ビジョン集大成ビデオ・パンフレットの作成

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・湾岸戦争で多国籍軍に50億ドル支援<br>・鹿児島市に市立図書館・科学館が完成オープン | ・水戸芸術館オープン<br>・地価監視区域に指定される。<br>・小吹水源地公園オープン<br>・水戸市・常澄村合併検討協議会発足<br>・第15回国勢調査行われる。水戸市の世帯数83,409世帯、人口234,968人<br>・東水戸道路（建設省）着工<br>・水戸駅北口地区市街地再開発事業着工 |

## 1991年（平成３年）

メンバー／156名

第39代理事長
**吉久保千春**

**主な活動／**
・第１回まちづくり大賞発表
・第16回ちびっ子広場

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に宮沢喜一<br>・自衛隊ペルシャ湾の地雷除去<br>・新幹線鹿児島ルート起工 | ・ドクターカー県内初の運行<br>・市の花（萩）、市の鳥（ハクセキレイ）及び緑の都市宣言制定<br>・水戸市・常澄村合併議決。<br>・森のシェーブル館完成 |

## 1992年（平成４年）

メンバー／170名

第40代理事長
**君島　尚之**

**主な活動／**
・『40周年記念式典』を開催
・第17回ちびっ子広場
・第１回子供演劇祭（水戸芸術館）

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・学校週５日制スタート | ・常澄村、水戸市に合併<br>・都市景観条例を制定<br>・常澄保健福祉センター開設<br>・西部文化公園オープン（西部図書館）<br>・備前堀周辺整備完成<br>・好文橋開通<br>・92年世界少年野球大会開催 |

# 1993年－2002年

（平成５年－平成14年）

第41代－第50代

70th Anniversary JCI MITO

## 政策集団としての成熟と全国大会誘致の10年

平成５年、地域社会への影響力を高めるため全国大会誘致の決議がなされた。地域ビジョンはさらに深化し、平成６年の新水戸八景策定の提言など、行政への具体的な影響力をもちながら、平成10年の「新・水戸藩　庭園都市構想」でひとつの頂点に達する。その壮大なビジョンは全国大会の誘致理念へと引き継がれ、平成10年から４年間は全国大会誘致活動に全力が注がれ、平成13年見事誘致に成功した。50周年では、芸術館と共催で「カフェイン水戸」というアートプロジェクトが行われ、地域ビジョンの理想精神が具体的なかたちに始めている。

### 1993年（平成5年）

メンバー／183名

第41代理事長
佐藤　　衛

**スローガン／**
変革のとき！踏み出そう、50周年への新しい第一歩

**主な活動／**
- 社団法人日本青年会議所　副会頭に大久保博之君輩出
- 水戸グランドデザイン策定
- 第18回ちびっ子広場
- 第２回子供演劇祭（水戸芸術館）
- 全国会員大会水戸大会誘致決議

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に細川護熙<br>・鹿児島市に集中豪雨、甲突川氾濫、石橋流失、竜ヶ水土石流 | ・水戸駅北口再開発事業完成<br>・全国都市緑化いばらきフェアー開催<br>・市営城東住宅が完成<br>・ゴミ袋透明化始まる。<br>・北消防署飯富出張所が完成<br>・日本三名園所在市懇話会開催<br>・環境を育む水戸市行動計画を策定<br>・岡田広　17代市長となる。<br>・水戸市一般廃棄物第二最終処分場竣工<br>・水戸駅北口に県内初の地下駐輪場が完成 |

### 1994年（平成6年）

メンバー／160名

第42代理事長
奥田　俊裕

**スローガン／**
座して語り合い　立って同じ汗を流そう！愛する水戸の為に！～愛が地域（あいがまち）を変える！～

**主な活動／**
- 市民公開例会をシリーズで開催
- 新水戸八景の提言
- 第19回ちびっ子広場
- 第３回子供演劇祭（水戸芸術館）

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に羽田孜・村山富市<br>・鹿児島市にレトロ観光バス「シティビュー」登場 | ・老人保健福祉計画を策定<br>・県内で初めて市長の資産公開<br>・市立幼稚園の統廃合と全園で２年保育の実施<br>・水戸市総合教育研究所開設<br>・みと好文カレッジ開設<br>・水戸市第４次総合計画策定<br>・植物館開館<br>・小吹清掃工場不燃物再資源化施設竣工<br>・水戸市空き缶等のポイ捨防止に関する条例施行<br>・駐車場案内システム一部供用開始 |

### 1995年（平成7年）

メンバー／162名

第43代理事長
外岡　　浩

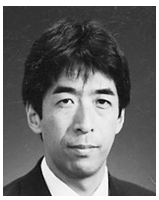
**スローガン／**
進め！ JCの自己改革
還れ！ JCの原点へ
輝け！未来の子どもたち

**主な活動／**
- ビジネスフェイスシートの策定
- 第20回ちびっ子広場
- 第４回子供演劇祭（水戸芸術館）

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・阪神淡路大震災<br>・地下鉄サリン事件 | ・ごみ収集体系の変更。資源ごみの日を新たに独立して設ける<br>・財団法人水戸市国際交流協会設立<br>・大塚・赤塚浄化センター、水府・青柳浄化センター竣工<br>・国道349号万代橋開通<br>・飯富地区農業集落排水施設竣工<br>・第16回国勢調査行われる。水戸市の世帯数91,578世帯、人口246,347人<br>・水戸市・常北町合併協議会発足 |

### 1996年（平成8年）

メンバー／157名



第44代理事長
一毛　裕之

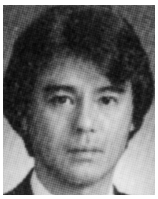
**スローガン／**
今　唱おう！水戸の応援歌
21世紀に向けて更なる飛躍！
育もう新しい地球市民！

**主な活動／**
- 県庁跡地の再提言
- 第21回ちびっ子広場
- 第５回子供演劇祭（水戸芸術館）

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に橋本龍太郎<br>・休日「海の日」設定 | ・38m級はしご付消防ポンプ自動車導入<br>・水戸市住みよいまちづくり推進協議会発足<br>・男女共同参画都市宣言<br>・新水戸八景を選定<br>・道路愛称を選定<br>・東水戸道路（水戸南インター・水戸大洗インター間）開通<br>・第１回「アートタワーみとスターライトファンタジー」開催 |

## 1997年（平成9年）

メンバー／148名



第45代理事長
**佐藤　賢司**

**スローガン／**
A STEP AHEAD（一歩前へ）
～新人間社会の創造に向けて～

**主な活動／**
- 全国会員大会水戸大会誘致運動予備エントリー
- 敦賀湾重油流出事故回収作業
- 第22回ちびっ子広場
- 第６回子供演劇祭（水戸芸術館）

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・消費税　５％<br>・林田産業経営不振、岩崎産業傘下にはいる | ・平成10年NHK大河ドラマ「徳川慶喜」に決定<br>・水戸市ふるさと農場オープン<br>・都市計画道路３・３・１号南口停車場線全線開通<br>・インターネットホームページ開設<br>・水戸藩時代まつり開催<br>・銀杏坂市民ギャラリーオープン<br>・泉町駐車場オープン |

## 1998年（平成10年）

メンバー／146名

第46代理事長
**内田　浩司**

**スローガン／**
A Creator of broad Net-WORK
～創ろう水戸未来ビジョン～

**主な活動／**
- 全国会員大会水戸大会誘致運動の推進
- ゆうあいピック後夜祭開催
- 第23回ちびっ子広場
- 水戸未来ビジョンの策定

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に小渕恵三 | ・大河ドラマ「徳川慶喜」展示館開館<br>・国際交流センターオープン<br>・水戸市青少年育成推進会議設立<br>・「水戸市史」完成<br>・栃木県北部集中豪雨により、那珂川などが氾濫<br>・赤塚駅橋上駅舎と南北自由通路建設着工<br>・ゆうあいピック茨城大会開催 |

## 1999年（平成11年）

メンバー／135名

第47代理事長
**海老根　昭**

**スローガン／**
おこせ！旋風　未来に向かって「夢をかたちに」
～我らの絆のもとに～

**主な活動／**
- 全国会員大会水戸大会誘致運動の展開
- グランドワークトラスト公開例会の開催
- 第24回ちびっ子広場

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・失業者300万人 | ・赤塚駅北口市街地再開発事業が起工<br>・東海村のウラン加工施設で放射能漏れ事故発生<br>・水戸駅南口地区時定開発事業が起工<br>・市制施行110周年記念式典を市民会館で挙行<br>・生涯学習都市宣言<br>・水戸ホーリーホックJ2昇格決定<br>・赤塚駅橋上駅舎オープン |

## 2000年（平成12年）

メンバー／135名

第48代理事長
**根本洋一朗**

**スローガン／**
信じよう若い力を、行動しよう夢に向かって！
～明るく、楽しく、爽やかに～

**主な活動／**
- 全国会員大会水戸大会誘致運動の展開
- 第25回ちびっ子広場

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に森喜朗 | ・下大野公民館開館。１小学校区１公民館の整備完了<br>・環境基本条例制定<br>・中国重慶市と友好交流都市締結<br>・第17回国勢調査。水戸の世帯数96,067世帯、人口246,739人<br>・赤塚駅北口再開発ビル「ミオス」完成 |

## 2001年（平成13年）

メンバー／131名

第49代理事長
**寺川　　彰**

**スローガン／**
smile again
～愛する人のために～

**主な活動／**
- 全国会員大会水戸大会誘致成功
- 日本JC土屋会頭来水
- 水戸JC50周年の企画及び準備
- 第26回ちびっ子広場
- 訪中経済ミッション

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に小泉純一郎<br>・米国で同時多発テロ事件<br>・狂牛病発生<br>・奄美沖で不審船と銃撃戦 | ・福祉ボランティア会館オープン<br>・「ミオス」内の保健・医療・福祉複合型施設オープン<br>・男女平等参画基本条例制定<br>・特例市に移行<br>・新柳堤堰が完成（備前堀通年導水開始）<br>・男女文化センター「びよんど」オープン<br>・「日本女性会議2001みと」開催 |

## 2002年（平成14年）

メンバー／118名

第50代理事長
**宮﨑　雅彦**

**スローガン／**
感性を研ぎ澄まし、人間力を高めよう。

**主な活動／**
- 50周年記念式典、記念事業（CAFÉ IN MITO）
- 「第53回全国会員大会水戸大会」開催へ向けての準備
- 第27回ちびっ子広場

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・日朝会談<br>・金正日国防委員長が拉致を認め謝罪<br>・奄美沖に沈む工作船を引き揚げ | ・梅香トンネル、千波大橋４車線供用開始<br>・市立サッカー・ラグビー場、河和田市民運動場（ツインフィールド）オープン<br>・７月11日西田川が氾濫。沿岸地域への大きな被害<br>・全国高校総合体育大会開催（３種目（ソフトテニス、弓道、フェンシング）を水戸市を会場として開催）<br>・住民基本台帳ネットワーク第１次サービス稼動<br>・MITO母子保健2002策定 |

# 2003年－2012年

（平成15年－平成24年）

第51代－第60代

70th Anniversary JCI MITO

## 悲願の全国会員大会水戸大会、そして「水戸未来ビジョン」の実現に向けて

平成16年は、誘致に足かけ10年をかけた悲願の全国会員大会水戸大会が開催された年である。

翌年には「水戸未来ビジョン」を掲げ、水戸JCが新たな一歩を踏み出した。水戸としてのアイデンティティを確立し、精神性豊かな地域社会を形成することを掲げた「未来ビジョン」は現在までの水戸JCの運動を支えるバイブルであり、他団体に対してもその認知度は上がりつつある。

### 2003年（平成15年）

メンバー／100名

第51代理事長
清田　芳孝

**スローガン／**
次代の創造に向けて～決意新たな出発（たびだち）
～自信溢れる活力ある時代を目指して～

**主な活動／**
- ㈱日本青年会議所　サマーコンファレンス運営特別委員会　委員長に宮﨑雅彦君輩出
- 「第53回全国会員大会水戸大会」開催へ向けての準備
- 第28回ちびっ子広場

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・邦人外交官２人がイラクで殺害<br>・新型肺炎世界的に流行<br>・両陛下迎え奄美復帰50年 | ・加藤浩一　18代市長となる。<br>・水戸駅南口ペデストリアンデッキ概成、自転車駐車場完成<br>・住民基本台帳ネットワーク第２次サービス稼動<br>・安全なまちづくり条例施行<br>・幼・小・中英会話教育特区事業開始<br>・交通バリアフリー基本構想策定 |

### 2004年（平成16年）

メンバー／113名

第52代理事長
片岡　宗厳

**スローガン／**
～成功させよう全国会員大会水戸大会～
「みとっぽ」としての気概を持ち、新たな次代を切り拓くために

**主な活動／**
- ㈱日本青年会議所　監事に宮﨑雅彦君輩出
- 「第53回全国会員大会水戸大会」開催
- 第29回ちびっ子広場
- 全国会員大会記念事業開催　CAFÉ IN 水戸　平成弘道館開講式

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・拉致家族蓮池・地村両夫妻の子供５人帰国<br>・九州新幹線　鹿児島中央駅～新八代駅開業<br>・肥薩おれんじ鉄道　川内駅～八代駅開業 | ・男女平等参画推進基本計画策定<br>・電子申請・届出システム運用開始<br>・ファミリー・サポート・センター開設<br>・地上波デジタルによる県域テレビ放送開始<br>・全国男女共同参画宣言都市サミット開催 |

### 2005年（平成17年）

メンバー／110名

第53代理事長
大和田佳典

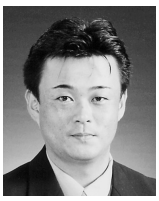
**スローガン／**
踏み出そう力強い第一歩　新たな夢の創造へ
～誇りを胸に、感謝を胸に携えて～

**主な活動／**
- ㈱日本青年会議所　国家力創造グループ常任理事に片岡宗厳君輩出
- コスモスプロジェクト
- 第１回ちびっ子平成弘道館体験版実施
- 第30回ちびっ子広場
- 国際アカデミー誘致決議
- 平成弘道館看板揮毫
- 平成弘道館ロゴマーク商標登録
- 水戸古地図の作成
- 水戸未来ビジョン作成

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・JR西日本脱線事故で107人死亡<br>・郵政民営化法案成立 | ・水戸市、内原町合併<br>・第５次総合計画（平成17年度～26年度）策定<br>・安全なまちづくり基本計画策定<br>・第18回国勢調査(世帯数104,521世帯､人口262,603人)<br>・内原駅北土地区画整理地内で複合商業施設オープン<br>・水戸市・茨城町合併協議会発足 |

### 2006年（平成18年）

メンバー／109名



第54代理事長
若林　純也

**スローガン／**
『純真なる魂』と『強い意志』をもち持続可能な社会の実現へ。同じ志、高い志をもつ我々青年が次世代を育み、確かな次代を切り拓く！そして共に明るい未来へと歩いていこう。

**主な活動／**
- ㈱日本青年会議所　監事に片岡宗厳君輩出
- ㈱日本青年会議所　全国大会運営会議議長に大和田佳典君輩出
- 「第１回夜・梅・祭」開催
- 第２回ちびっ子平成弘道館体験版開催
- 第31回ちびっ子広場
- 平成弘道館レセプション

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に安倍晋三<br>・日銀がゼロ金利を解除<br>・ライブドア事件で堀江貴文社長ら逮捕 | ・泉町１丁目南地区再開発ビル完成<br>・見和図書館オープン<br>・新ごみ処理基本計画策定<br>・元気都市・水戸IT人材育成特区の認定を受ける。<br>・まなびピアいばらき2006開催 |

## 2007年（平成19年）

メンバー／108名

第55代理事長
**鈴木　裕治**

**スローガン／**
「YES ！」すべては未来のために

**主な活動／**
- 55周年事業「ちゃりんこフェスティバル」開催
- 第３回ちびっ子平成弘道館体験版開催
- 第32回ちびっ子広場
- 「第２回夜・梅・祭」開催

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に福田康夫<br>・参議院で民主党が第１党となる<br>・年金記録未統合判明 | ・行財政改革プラン2007策定<br>・子育て支援・多世代交流センター「わんぱーく・みと」オープン<br>・「水戸藩の学問・教育遺産群」を世界遺産に登録申請<br>・水戸駅南口土地区画整理事業完成<br>・ねんりんピック茨城2007開催 |

## 2008年（平成20年）

メンバー／93名

第56代理事長
**吉澤　敦**

**スローガン／**
LOVE＆PEACE（まなぶ・あそぶ・つながる）
水戸未来ビジョンの実現　人と関わり
まちを育む　世界に責任をもつJCへ

**主な活動／**
- ㈱日本青年会議所　ローカルコミュニティー復活推進グループ　会務担当常任理事大和田佳典君輩出
- 茨城ブロック協議会　会長に若林純也君輩出
- 第４回ちびっ子平成弘道館体験版開催
- 第33回ちびっ子広場
- 「第３回夜・梅・祭」開催
- 「第１回水戸検定」開催
- 「自転車シティ構想」の提言
- 「CAFÉ IN 水戸」開催
- 「水戸っぱ塾」開催

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に麻生太郎<br>・北京五輪開催<br>・後期高齢者医療制度スタート<br>・中国製ギョーザで中毒 | ・第１回県央地域首長懇話会開催<br>・藤井岩根成沢地区農業集落排水処理施設完成<br>・常澄図書館オープン<br>・国民文化祭・いばらき2008開催<br>・景観計画策定<br>・幼児教育振興基本計画策定 |

## 2009年（平成21年）

メンバー／88名

第57代理事長
**白田　礼治**

**スローガン／**
今、この瞬間（とき）を　自らの行動で　輝く時代へ　相互理解による　共生社会の実現

**主な活動／**
- ㈱日本青年会議所　副会頭に大和田佳典君輩出
- 第５回ちびっ子平成弘道館体験版開催
- 第34回ちびっ子広場
- 「第４回夜・梅・祭」開催
- 「第２回水戸検定」開催
- 水戸UC設立
- 「全国会員大会水戸大会５周年同窓会」を開催

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・衆議院で民主党圧勝<br>・首相に鳩山由紀夫<br>・裁判員裁判発足<br>・新型インフルエンザが大流行 | ・平和記念館オープン<br>・市制施行120周年記念式典を市民会館で挙行<br>・市民と行政との協働都市宣言<br>・ケーズデンキスタジアム水戸（市立競技場）リニューアルオープン |

## 2010年（平成22年）

メンバー／81名

第58代理事長
**二川　泰久**

**スローガン／**
今、まさに行動のとき　自らの想像力を実現できる　力強い組織が推進する　ナンバーワンのまち「水戸」の創造

**主な活動／**
- ㈱日本青年会議所 監事に大和田佳典君輩出
- ㈱日本青年会議所　全国会員大会運営会議　議長に白田礼治君輩出
- 第６回ちびっ子平成弘道館体験版開催
- 第35回ちびっ子広場
- 「第５回夜・梅・祭」開催
- 「第３回水戸検定」開催
- ４月例会　平成弘道館事業
- ６月例会　茨城空港について

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・首相に菅直人<br>・参議院選挙で与党過半数割れ<br>・口蹄疫（こうていえき）拡大のため鹿児島県内の種牛を離島に移動 | ・行財政改革プラン2010策定<br>・好文cafe、親水デッキ、噴水を一体的に整備した黄門像広場のオープン<br>・横山大観生誕の地整備事業完成<br>・茨城空港開港<br>・各地区の公民館を市民センターに一本化<br>・第19回国勢調査（世帯数112,009世帯、人口268,750人） |

## 2011年（平成23年）

メンバー／72名

第59代理事長
**稲毛　一樹**

**スローガン／**
「今、吾唯足るを知る」市民一人ひとりのさらなる成長がもたらす　自律した市民による活力ある強い地域の創出

**主な活動／**
- 東日本大震災発災による被災地復興支援活動
- 第７回ちびっ子平成弘道館体験版開催
- 第36回ちびっ子広場
- 「第６回夜・梅・祭」開催
- 「第４回水戸検定」開催
- 水戸市長選　公開討論会の開催
- 茨城ブロック協議会　第40回会員大会主管
- 水戸ロータリークラブとの災害協定調印

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・東北地方大地震と津波で被害甚大<br>・首相に野田佳彦<br>・九州新幹線　博多駅～鹿児島中央駅全通 | ・3月11日の東日本大震災により、市内全域で大きな被害<br>・北関東自動車道全線開通<br>・桜川市民センター開設<br>・水戸市震災復旧方針策定<br>・高橋靖　19代市長となる。<br>・常磐市民センター移転開設 |

## 2012年（平成24年）

メンバー／73名

第60代理事長
**宮田　武範**

**スローガン／**
『天下為公』～ソーシャル・キャピタルの醸成による市民主体のまちづくり～

**主な活動／**
- 茨城ブロック協議会　会長に稲毛一樹君輩出
- 『60周年記念式典・祝賀会』の開催
- 第８回ちびっ子平成弘道館体験版開催
- 第37回ちびっ子広場
- 「第７回夜・梅・祭」開催
- 「第５回水戸検定」開催
- 『60周年記念事業（堀義人氏講演及びセミナー）』の開催
- 社団法人大洗青年会議所との合同事業を開催
- 高松JC・彦根JC防災協定
- 水戸市との連携協定（市民討議会）

| 国内の主な出来事 | 水戸市の主な出来事 |
|---|---|
| ・東京スカイツリー開業<br>・福島復興済世特別措置法<br>・ロンドン五輪開催<br>・ノーベル医学・生理学賞に京都大学・山中伸弥教授が受賞 | ・三の丸臨時庁舎開設<br>・第10回全国藩校サミット開催<br>・茨城産業再生特区計画の認定を受ける。<br>・震災復興メモリアル式典開催<br>・基本構想の策定に関する条例制定<br>・地球温暖化対策実行計画策定<br>・子育て支援・多世代交流センター「はみんぐぱーく・みと」オープン |

第61代理事長

# 大髙 勝利

水戸青年会議所61年目は、「深い愛情に満たされた人材溢れる豊かなまちの創造」を目指し運動を進めさせて頂きました。

全ての事業において挑戦し成長を信じ突き進め、継続事業や新規事業など様々な事業を5ヵ年アクションプランのもと「無関心になることなく、愛情をもって」開催することが出来ました。

この先も2013年度のまっすぐな気持ち、強い信念そして覚悟を忘れず、未来へ自分自身の成長の先へ一歩踏み出していければと思います。

本当にありがとうございました。

# 2013年度 「One piece」 ～まちを愛す 人を繋ぐ～

年頭会員数：76名
副 理 事 長：大関竜太郎・荒川　繁美
　　綿引　　健
専 務 理 事：沢畑　樹彦

## 主な活動

- 定期総会
- ５カ年アクションプラン推進セミナー
- 第８回「夜・梅・祭」
- 第38回ちびっ子広場
- スポーツGOMI拾い水戸大会
- ちびっ子オセロキャラバン水戸大会
- 第９回ちびっ子平成弘道館体験版
- マニフェスト中間検証大会
- 定期総会
- 文化事業
- みと市民討論会2013
- 卒業式・年末パーティー

## 国内の主な出来事

- 東証と大証が合併。株式会社日本取引所グループ発足
- NHK連続テレビ小説「あまちゃん」がブーム
- 黒田東彦が日銀総裁に就任
- 『和食　日本人の伝統的な食文化』が無形文化遺産に登録される

## 水戸市の主な出来事

- プロジェクト未来遺産登録証伝達式
- 水戸芸術館館長に世界的指揮者の「小澤征爾」氏が就任

# 2014年度

# 「不易流行」
## ～確かな未来へと導く責任～

第62代理事長

# 大関竜太郎

２０１４年度は不易流行をスローガンに掲げ、変えてはいけないもの、新しく変えるべきものをしっかりと見極め三つの大きな柱をもとに運動を展開し未来に続く革新的な組織改革を行ってまいりました。第一に公益法人格取得、事務局移転や収益事業構築による財政再建を図りました。第二に国際都市水戸に向けた国際アカデミー誘致を開始、第三に平成弘道館大学の設立に向けリーダーシップトレーニングに取り組みました。

**国内の主な出来事**

- STAP細胞のねつ造問題発覚
- 「あべのハルカス」開業
- 「笑っていいとも！」が放送終了
- 消費税が５％から８％に増税
- ノーベル物理学賞受賞者に赤崎勇・天野浩・中村修二の３人が決定

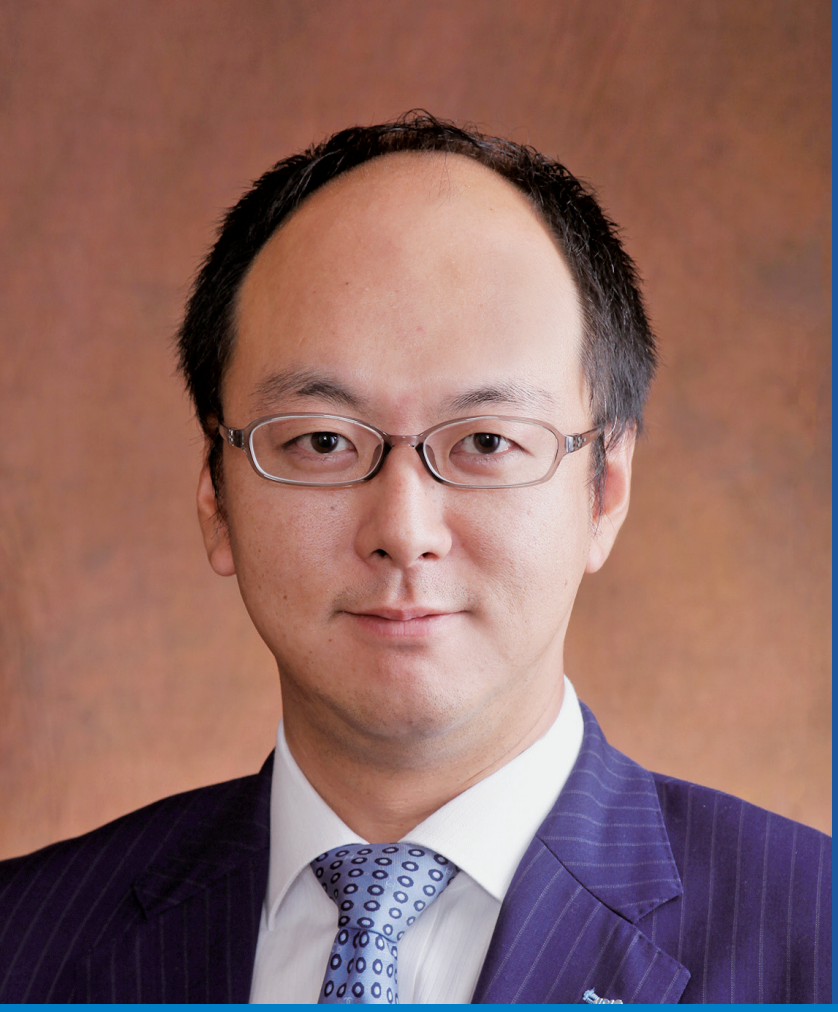
**水戸市の主な出来事**

- 水道料金改定
- 災害時生活用水協力井戸制度
- 水戸市消費生活条例を制定
- 水戸市新庁舎建設基本設計（素案）を公表
- 新水府橋開通

年頭会員数：69名
副 理 事 長：佐藤平八郎・髙橋　隆慎
　　幡谷哲太郎
専 務 理 事：荒川　繁美

**主な活動**

- 定期総会
- 平成弘道館講師セミナー
- 第９回「夜・梅・祭」
- 平成弘道館女子力アップセミナー
- 第39回ちびっ子広場
- ちびっ子オセロキャラバン水戸大会
- OMOIYARI音楽会
- 第10回ちびっ子平成弘道館体験版
- 定期総会
- 第３回水戸未来市民討論会
- 卒業式・年末パーティー



第63代理事長

# 佐藤平八郎

２０１５年度は一張一弛をスローガンに、自らを律し、自ら行動を起こせる日本固有の精神性を兼ね備えた人材の育成と地域のソーシャルキャピタルを活かした魅力溢れる地域を創造すべく一年間活動を行っておりました。その活動や運動を、戦略的情報発信で地域から信頼される組織へ進化させるべく活動を行いました。また、日本青年会議所に副会頭と茨城ブロック協議会へはブロック会長を輩出する機会を得て、ＬＯＭとしての成長も得ることが出来ました。

# 2015年度　「一張一弛」

年頭会員数：63名
副 理 事 長：髙橋　隆慎・沢畑　樹彦
専 務 理 事：前田　拓哉

## 主な活動

- 京都会議（移動例会）
- 会員拡大セミナー
- 第10回「夜・梅・祭」
- 定期総会
- 平成弘道館大学
- 第40回ちびっ子広場
- ちびっ子オセロキャラバン水戸大会
- ファミリー総会
- サマーコンファレンス（移動例会）
- ちびっ子平成弘道館体験版
- 地域振興フォーラム
- OB合同誕生例会
- 卒業式・年末パーティー

## 国内の主な出来事

- 天皇皇后両陛下が太平洋戦争の激戦地ペリリュー島を訪問
- SIMロックの解除が義務化
- ノーベル生理学・医学賞に大村智、ノーベル物理学賞に梶田隆章が選出される
- 日本郵政グループ３社が東京証券取引所の一部に上場

## 水戸市の主な出来事

- 健全で豊かな消費生活都市宣言
- 弘道館や偕楽園などを構成文化財とする「近世日本の教育遺産群―学ぶ心・礼節の本源―」のストーリーが日本遺産の第一号に認定

# 2016年度

## 「華」
## ～それぞれが華となれ～

第64代理事長

# 髙橋 隆慎

２０１６年度、「華～それぞれが華となれ～」をスローガンに掲げ、主体的な行動力ある魅力ある人財による活力ある組織の創造の基本理念のもと、「第29回国際アカデミーin水戸」の主管開催をはじめ、【未来を見据えた新たな切口によるまちづくりの実践】【水戸ＯＮＬＹの地域創生を踏まえた地域企業の躍進に繋がる経済土俵の構築】【主体的な行動力ある魅力ある人財の育成】【市民構築の夜・梅・祭】などの運動・事業を展開させていただきました。

年頭会員数：60名
副 理 事 長：中山　秀一・関根　宏宜
　　益子　直之
専 務 理 事：早川　裕之

### 主な活動

- 京都会議（移動例会）
- 会員拡大セミナー
- 第７回総会
- 第41回ちびっ子広場
- ちびっ子オセロキャラバン水戸大会
- 平成弘道館大学
- 国際アカデミー及び決起集会
- サマーコンファレンス（移動例会）
- ファミリー総会
- 第８回総会
- OB合同誕生例会
- 地域経済国際フォーラム
- 卒業式・年末パーティー

### 国内の主な出来事

- 熊本地震
- 民主党と維新の党などが合流して民進党が発足
- 都知事選で小池百合子が当選
- 『シン・ゴジラ』と『君の名は。』などの邦画が大ヒット
- 「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の連載終了

### 水戸市の主な出来事

- 第120回水戸の梅まつり
- 茨城ロボッツ、活動拠点を水戸に
- 第40回世界オセロ選手権大会
- 第１回水戸黄門漫遊マラソン開催

第65代理事長

# 関根 宏宜

前年国際アカデミーを水戸で開催し、65年を迎えた2017年度は地方都市の国際化を魅る一年としました。所縁ある台湾嘉義市JCI Chiayiとの国際姉妹締結、愛国、愛郷心を醸成する茶道水戸青松会の発会、水戸市との強力な連携を押し上げる水戸国際ビジョンの提言など、伝統と革新を備えた国際都市水戸を強く求める事業を行いました。

そして、日本青年会議所へ監事と茨城ブロック協議会会長を輩出し、LOMの成長へ繋げる機会を得ました。

# 2017年度 「人」 ～縁に導かれし同志～

年頭会員数：64名
副 理 事 長：益子　直之・前田　拓哉
　　早川　裕之
専 務 理 事：松本圭一郎

## 主な活動

- 京都会議（移動例会）
- 「エンジン01」
- 第９回総会
- 水戸青松会発会式記念式典
- 市民討議会
- 第42回ちびっ子広場
- ちびっ子オセロキャラバン水戸大会
- 水府提灯　ぶら散歩
- ちびっ子平成弘道館体験版
- 第10回総会
- ちょうちんアートナイト
- 明日から実践！未来に輝くひとのためのセミナー
- 卒業式・年末パーティー

## 国内の主な出来事

- プレミアムフライデー初実施
- 東芝が経営危機に陥る
- 第48回衆議院議員総選挙
- 桐生祥秀が日本人選手初の公認記録100m走９秒台を達成
- 将棋棋士の羽生善治が史上初の永世七冠を達成

## 水戸市の主な出来事

- エンジン01文化戦略会議オープンカレッジ　in 水戸が開催
- 少年自然の家リニューアルオープン
- 和楽器バンドのボーカルを務める鈴華ゆう子さん、水戸大使を委嘱

# 2018年度

# 「想望」

## ～市民に慕われる組織による未来の構築～

第66代理事長

## 益子 直之

２０１８年度は「想望」～市民に慕われる組織による未来の構築～を志に掲げ、未来へ繋げる人財による夢と魅力が溢れるまち 国際都市水戸 の実現のために運動をさせて頂きました。交流事業など活発に行いながら、「市民」や「まち」へ溶け込み、青年会議所だからできる水戸のまちの魅力を発信する事業を展開しました。また、海外友好ロムとの交流も頻繁に実施し、その絆と友情は現在も現役の運動に刺激が有る物と確信しております。

年頭会員数：63名
副 理 事 長：前田　拓哉・松本圭一郎
専 務 理 事：神原　彰仁

### 主な活動

- 京都会議（移動例会）
- 拡大セミナー～会員拡大フォーラム及び異業種交流会～
- 第11回総会
- ～TALK THE KAIRAKUEN2018～
- 第43回ちびっ子広場
- 市民討議会～みんなが住みたい国際都市みと～
- ちびっ子オセロキャラバン水戸大会
- ちびっ子平成弘道館体験版
- 第12回総会
- ワールドカフェ2018
- THE 禅 ZEN
- 水府提灯　ぶら散歩～水戸ちょうちん祭り2018～
- 卒業式・年末パーティー

### 国内の主な出来事

- 平昌オリンピック開催
- 天皇皇后両陛下による初の与那国島訪問
- 希望の党と民進党が合流して「国民民主党」結党
- 出光興産と昭和シェル石油が経営統合

### 水戸市の主な出来事

- 第50回水戸市芸術祭
- 明治維新150年記念シンポジウム

第67代理事長

# 前田　拓哉

令和を迎える年にあたり、原点回帰の旗印の下、特に会員拡大や交流事業に適材適所の体制で臨みました。近年でも最も多く会員拡大ができたこと、組織を超えて青年が集い交流できたこと、祭りを通して国際交流できたこと、国体等の機会を活かして水戸の魅力を発信できたこと、未来の為に歴史を学び人材育成できたことは喜びに堪えません。しかし、10月には台風被害もあり、世の厳しさを感じた年でもありました。これからも自分と組織の限界を打ち破れ。青年よ、いざ変革者たれ。

# 2019年度　「原点回帰」

年頭会員数：59名
副 理 事 長：早川　裕之・鈴木　憲之
　　松本圭一郎
専 務 理 事：堤　　圭司

**主な活動**

- 賀詞交歓会
- 「二十一世紀彰考館」
- 第13回総会
- 「賢者は３コースから学ぶ」
- 第44回ちびっ子広場
- 水戸オセロ56（ゴロー）オセロキャラバン
- 公開委員会　交流会
- 「Summer Dream Festa」～提灯やぐらFES～
- ちびっ子SUMMER SCHOOL
- 第14回総会
- 「いきいき茨城ゆめ国体 魁祭 チャレンジ体験村」
- 千波湖畔有効活用に関する提言書
- 二十一世紀彰考館　誕生編
- 卒業式・年末パーティー
- 第15回総会（臨時総会）

**国内の主な出来事**

- 皇太子徳仁親王が天皇に即位され、「令和（れいわ）」に改元
- ラグビーW杯が日本で開催
- 日本の消費税率が８%から10%に
- 沖縄県那覇市の首里城で火災
- 新国立競技場が完成

**水戸市の主な出来事**

- ４月市制施行130周年記念施設「アダストリアみとアリーナ」がオープン
- いきいき茨城ゆめ国体2019開催
- いきいき茨城ゆめ大会（台風19号の影響により中止）

# 2020年度 「過ぎたるは猶及ばざるが如し」

## 第68代理事長 早川 裕之

激動する世界が始まり、だれもが忘れる事のない年となった私たちは、後に時代が進化する瞬間であったことは言うまでもありません。しかし、各種研修事業を通じて自己研鑽に励みながら、青少年の健全育成や地域社会の活性化等に、積極的に活動して参りました。強い責任感と将来を思う情熱を胸に、まちのグランドデザインを描くことは、改めてJCの尊さを感じた1年でもありました。そして、人生のものさしとは自らの貢献によるものであると青年会議所から学び、最後まで最高のメンバーと共に活動したことを心より感謝致します。

年頭会員数：67名
副 理 事 長：島貫　俊和・長谷川大輔
　　浅川　宗典・深作　陽右
専 務 理 事：樫村　晶洋

### 主な活動

- 京都会議
- 賀詞交歓会
- 財政公益格付けQ
- 第16回総会
- 第45回ちびっ子広場
- このちから、明日へ繋がる
- 第17回総会
- 全国大会北海道札幌大会　WEB開催
- JCI世界大会（横浜）　WEB開催
- 卒業式・年末パーティー
- STAY HOMEプロジェクト
- 布製マスクを繋ごうプロジェクト
- 水戸市医師会へのマスクの寄贈

### 国内の主な出来事

- 新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大
- 東京オリンピック・パラリンピックの１年延期が決定
- ５Gが国内でサービス開始
- 自民党総裁選は菅義偉が勝利し、第99代内閣総理大臣に就任
- 漫画「鬼滅の刃」を原作とする映画が興行収入歴代１位となる

### 水戸市の主な出来事

- 復元工事を進めていた水戸城大手門が完成
- 水戸市が中核市に移行

第69代理事長

# 深作 陽右

「堅忍」とは強い意志をもって困難を耐え忍ぶこと、「力行」とはその困難を打ち破るために努力して実行すること。

コロナ禍の中で多くの決断を迫られる一年でした。その状況にも怯むことなく勇気をもってメンバー一丸となって立ち向かったからこそ、第69回関東地区大会水戸大会の開催へと繋がりました。1つの考え方や手法に捉われることなく、柔軟な発想によって新たな道を切り拓くことができた1年であったと私は確信しています。

# 2021年度 「堅忍力行」

年頭会員数：65名
副 理 事 長：長谷川大輔・浅川　宗典
　　樫村　晶洋
専 務 理 事：大久保惣太

## 主な活動

- 賀詞交歓会
- ２月例会みらい部　～みんなで広げる地域の防災・減災～　WEB開催
- 第18回総会
- 魅力を発信しないとMOT-TAINAI
- 第46回ちびっ子広場
- 故きを温ねて新しきを知る
- 第69回関東地区大会　水戸大会
- 第19回総会
- 全国大会とちぎ宇都宮大会　移動例会
- なぞときトレジャーハンティング～水戸の秘宝～
- 新知見セミナー
- 誕生例会
- 卒業式・年末パーティー

## 国内の主な出来事

- ワクチン接種が進む
- ゴルフの松山英樹がマスターズ優勝
- メジャーリーグの大谷翔平が二刀流で活躍
- 東京オリンピック・パラリンピック開幕、無観客での開催
- 自民党の岸田文雄が第100代内閣総理大臣に就任

## 水戸市の主な出来事

- 水戸城二の丸角櫓及び土塀の工事が完成し一般公開が始まる
- 古の水戸城址復興記念イベントで大手門ライブおよび水戸東照宮創建400年記念御祭禮行列が開催
- 弘道館開館180年記念

第70代理事長

# 浅川 宗典

百折不撓の精神で自らの利ではなく「ひと」のため「地域」のために懸命に行動し、この度70周年という節目を迎える事が出来ました。

これもひとえに、私達の敬愛する諸先輩方の努力とそして、当団体の運動に深くご理解を賜っております地域の諸団体、行政の方々、そして水戸市民皆様の賜物であると会員一同心より御礼申し上げます。

2022年度は【挑戦と創造】のスローガンの下、先輩諸兄姉が情熱を込めた活動の歴史と、地域の方々の思いを私たちが受け、地域と繋がりを持った活動を展開しております。

# 2022年度 「挑戦と創造」

**国内の主な出来事**

- ロシアのウクライナ侵攻、それに伴い国内の物価上昇
- 成年年齢が18歳に引き下げ
- 「うまい棒」が10円から12円に値上げ
- 改正道路交通法施行
- アメリカ合衆国第46代大統領のジョー・バイデンが就任後初の来日

**水戸市の主な出来事**

- 偕楽園開園180年記念

年頭会員数：55名
副 理 事 長：清水　祐司・大久保惣太
　　樫村　晶洋
専 務 理 事：鈴木壮一郎

**主な活動**

- 賀詞交歓会
- 主体性を育む「リーダーシップを発揮する３つのポイント」セミナー
- 第20回総会
- キャンプから学べる！減災体験！
- 第47回ちびっ子広場
- 水戸の先駆者になるのは我々だ！～多様なアイディアでてこいや～
- あたし、一生懸命守るから…コンプラを。
- 第２回なぞときトレジャーハンティング～紐解け公園文化の歴史～
- 第21回総会
- 70周年記念事業　MITOプラットフォーム～共創による新たな価値の創造～
- ～TOMONI～
- 70周年記念式典　祝賀会

Junior Chamber International Mito
70th ANNIVERSARY

# 名　簿

**偕楽園**

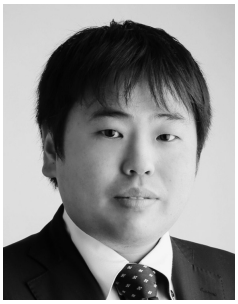
天保13年（1842年）に水戸藩第９代藩主徳川斉昭によって領内の民と偕（とも）に楽しむ場にしたいと願い、造園されました。偕楽園は金沢の兼六園、岡山の後楽園とならぶ「日本三名園」のひとつで、園内には約100品種・3000本の梅が植えられ、春頃になると梅の花を一目見ようと観光客で賑わいます。

# 名　簿

## 現役会員

氏名／勤務先／入会年度／生年月日

浅川宗典
㈱浅川建設
2015／1983.4.6



雨谷一宇
㈱茨城荷役運輸
2016／1983.9.13

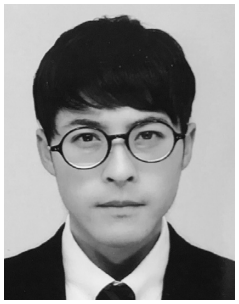
荒川博紀
水戸土建工業㈱
2018／1985.1.13

荒蒔篤嗣
㈱エイディエス
2021／1985.10.7

飯田諭
社会福祉法人 二十一世紀会
2022／1983.10.10

五十嵐仁弥
㈱AIC
2018／1984.1.4

石井孝彦
ソニー生命保険㈱水戸支社第1営業所
2019／1982.3.12



石井悠也
㈱テクニティ
2020／1995.3.13

石川陽己
湯泉荘
2013／1984.11.23

石川祐介
ランス
2016／1982.8.17

石渡淳
ソニー生命保険㈱水戸支社第1営業所
2019／1982.2.13

磯﨑秀太
㈱秀
2020／1996.3.28

植竹文人
のぎく保育園
2017／1983.3.7

上田俊介
㈲ホームシック Style Shop水戸
2020／1986.8.8

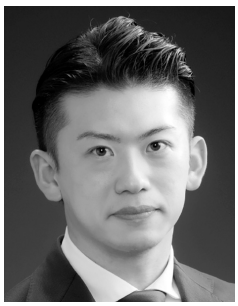
海老澤大輔
㈱海老澤工業
2019／1985.11.1

蛯名雄太郎
さんいちまる
2019／1988.9.19

大泉渉
鉾田電機㈱
2020／1986.12.20

大串昌弘
NPO特定非営利活動法人まつぼっくり
2022／1985.5.15

大久保惣太
㈻リリー文化学園
2016／1986.5.10



大髙幸也
㈱茨城県クリニック・クリーン協会
2014／1994.3.18

大野大地
ohno.
2022／1995.1.26

岡　太一
㈱広報社
2018／1985.8.10

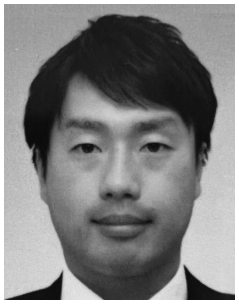
樫村晶洋
㈱オークアテイン
2016／1985.2.2

加治光教
㈲加治 肉のカジ
2016／1986.12.13

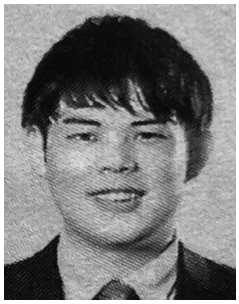
加藤　海
加藤自動車工業㈲
2020／1985.1.8

川辺賢一
川辺賢一後援会
2018／1987.5.11

菊池　峻
㈱工務店ウィズ
2022／2011.5.21



木村健悟
ひぬま保育園
2022／1993.10.1

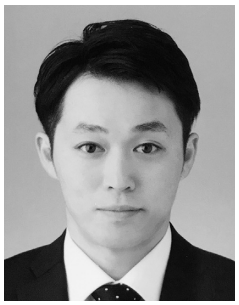


栗山　周
茨城ロボッツ・スポーツエンターテイメント
2022／1997.2.16

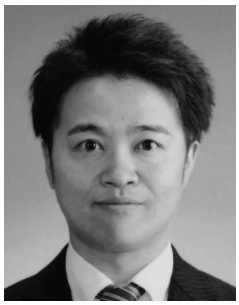
鯉渕翔太
翔電（しょうでん）
2022／1995.12.30

小澤沙紀
和興自動車㈱
2020／1992.1.14

齊藤龍司
㈱齊藤豊元社
2019／1988.1.26



酒井琢磨
㈱マイスター
2020／1989.6.27



佐藤信聡
トヨタカローラ新茨城㈱
2019／1984.6.7

佐藤慶貴
㈱花の店サトー
2019／1986.4.30

佐野元則
㈱フットボールクラブ水戸ホーリーホック
2020／1983.7.28

島根洋明
E保険プランニング　水戸中央支店
2022／1987.9.15

清水祐司
水戸袴塚郵便局
2015／1982.11.19

下条綾香
㈱FPパートナー
2022／1993.12.29

白石　光
総合環境サービス㈲
2017／1985.2.26

# 名　簿

鈴　木　壮一郎
㈲エス・プランナー
2017／1984.2.20

鈴　木　利　孝
㈲スズキクリーンサービス
2018／1984.3.14

住　谷　勇　幸
㈱エス・エフ・ピー・サポート
2018／1991.10.18

関　山　大　介
関山楽器㈱
2021／1982.11.19

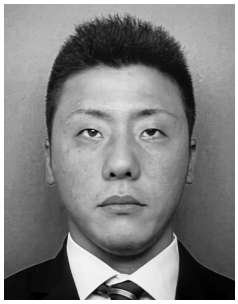
髙　﨑　拓　哉
㈱東部架設
2019／1985.7.29

髙　野　　翔
ソニー生命保険㈱
2018／1986.3.18

高　安　雄　一
Re.main㈱「リメイン」
2017／1983.7.1

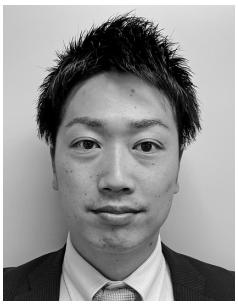
田　﨑　　怜
㈱大洋商産
2019／1992.11.5

富　田　卓　也
㈲Ratell（ラーテル）
2022／1988.12.10



豊　田　勇　貴
豊夢（ほうむ）
2022／1992.6.26

永　井　義　久
㈱常陽銀行
2021／1983.4.25

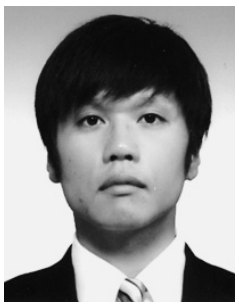


中　島　　研
㈱常陽銀行
2022／1991.11.11

中　島　　学
環境ウィザード㈱
2017／1984.10.15

中　庭　一　成
ジョースター不動産㈱
2022／1983.9.11

滑　川　友　理
水戸市議会
2019／1986.10.31



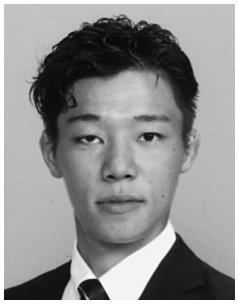
西　野　　匠
㈱エービス
2011／1984.7.27

根　本　拓　也
ジブラルタ生命保険㈱
2019／1984.7.5

根　本　真　美
ﾒﾅｰﾄﾞﾌｪｲｼｬﾙｻﾛﾝ赤塚見和店
2021／1996.2.14

原　　正　大
BACK BONE㈲
2022／1991.8.14

福　田　真　代
ジュエリー
2014／1983.12.24



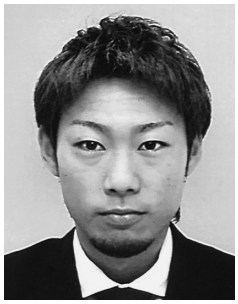
本田武士
本田農園
2018／1996.11.4

村田　宰
㈱MURATA
2019／1994.11.8

山本和明
㈱高揚
2017／1985.1.18

横山真明
らーめん げんき屋ひたちなか店
2017／1982.8.23

吉原隆智
㈲商工美術社
2016／1982.1.31



若林龍也
ミナト防災通信工業㈱
2018／1993.3.11

渡辺　潤
五光警備保障㈱
2021／1982.3.20

## 70周年実行委員会

### 役　員

| | | |
|---|---|---|
| 理　事　長 | 浅川　宗典 | |
| 直前理事長 | 深作　陽右 | |
| 実行委員長 | 樫村　晶洋 | |
| アドバイザー | 吉原　隆智 | |
| 運営専務 | 若林　龍也 | |
| 専務理事 | 鈴木壮一郎 | |
| 副実行委員長 | 大久保惣太 | 清水　祐司 |
| | 大髙　幸也 | |

### ビジョン発信部会

| | | |
|---|---|---|
| 部　会　長 | 加治　光教 | |
| 副部会長 | 酒井　琢磨 | 住谷　勇幸 |
| | 髙﨑　拓哉 | |
| 石井　悠也 | 磯﨑　秀太 | 岡　太一 |
| 加藤　海 | 佐藤　信聡 | |

### 財審・広報部会

| | | |
|---|---|---|
| 部　会　長 | 髙野　翔 | |
| 副部会長 | 五十嵐仁弥 | 小澤　沙紀 |
| 荒蒔　篤嗣 | 大泉　渉 | |

### 総務渉外部会

| | | |
|---|---|---|
| 部　会　長 | 荒川　博紀 | |
| 副部会長 | 齊藤　龍司 | 植竹　文人 |
| | 蛯名雄太郎 | |
| 雨谷　一宇 | 滑川　友理 | 西野　匠 |
| 根本　拓也 | 村田　宰 | 渡辺　潤 |

### 祝賀会部会

| | | |
|---|---|---|
| 部　会　長 | 横山　真明 | |
| 副部会長 | 石渡　淳 | 佐藤　慶貴 |
| | 本田　武士 | |
| 石川　陽己 | 石川　祐介 | 川辺　賢一 |
| 鈴木　利孝 | 永井　義久 | 根本　真美 |
| 福田　真代 | | |

### 記念式典部会

| | | |
|---|---|---|
| 部　会　長 | 山本　和明 | |
| 副部会長 | 石井　孝彦 | 上田　俊介 |
| | 佐野　元則 | |
| 海老澤大輔 | 白石　光 | 関山　大介 |
| 高安　雄一 | 田﨑　怜 | 中島　学 |

## 特別会員

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1963年卒(T12年) | 長山幸男 | | | |
| 1967年卒(S２年) | 野沢汎 | | | |
| 1969年卒(S４年) | 大和田俊郎 | 平原龍治 | | |
| 1970年卒(S５年) | 横須賀清 | | | |
| 1972年卒(S７年) | 稲石藤男 | 大川洋一 | 鬼澤實 | 加藤啓進 |
| | 川上祐一 | 滝田浩 | 中尾久三 | |
| 1973年卒(S８年) | 野々山一彦 | 長谷川國雄 | 武藤英男 | |
| 1974年卒(S９年) | 大金正幸 | 國谷秀児 | 佐藤安彦 | 中島善太郎 |
| | 廣瀬正 | | | |
| 1975年卒(S10年) | 大貫英 | 小貫啓司 | 梶山昇一 | 加納博史 |
| | 亀山稔 | 住谷勉 | | |
| 1976年卒(S11年) | 桑村明哲 | 土田浩二 | 平戸和夫 | 船橋光夫 |
| 1977年卒(S12年) | 江幡巖 | 尾関武彦 | 木村成文 | 湯原三郎 |
| 1978年卒(S13年) | 長澤征次 | 平野逸夫 | | |
| 1979年卒(S14年) | 阿久津忠男 | 江面宏 | 倉田信一 | 古山隆英 |
| | 竹内三千雄 | 長倉克彦 | 松浦進 | 潮崎熙 |
| 1980年卒(S15年) | 小河原正三 | 奥田浩堂 | 久米喜久夫 | 佐々木富次郎 |
| | 高野辰雄 | 唐笠實 | 中山義雄 | 長瀬藤夫 |
| | 湊正雄 | 森正光 | 横山憲昭 | 和田祐之介 |
| 1981年卒(S16年) | 井上壽博 | 岩上一宇 | 打越芳男 | 大貫光廣 |
| | 川又正史 | 城戸義明 | 五條史男 | 住谷隆 |
| | 平勲 | 高崎康史 | 高橋洋一 | 瀧田昌信 |
| | 森嶋宏 | | | |
| 1982年卒(S17年) | 市川喜男 | 上原利康 | 加藤浩一 | 佐藤勲 |
| | 杉山長司 | 龍田武雄 | 宮田静 | 安徹 |
| | 重藤正雄 | | | |
| 1983年卒(S18年) | 池田善保 | 石原洋太郎 | 宇田義嗣 | 大関康男 |
| | 小田木聰一郎 | 加藤卓志 | 木下隆雄 | 鈴木克之 |
| | 園部勝栄 | 中山彰真 | 根本兵仁 | 綿引忠 |
| 1984年卒(S19年) | 大山義男 | 川又進 | 齋藤武 | 関周行 |
| | 滝山清 | 茅根幸彦 | 三浦晴保 | 和田芳武 |
| 1985年卒(S20年) | 國谷祐三 | 清水透 | 湊弘一郎 | 山崎文治 |
| | 吉田正孝 | | | |
| 1986年卒(S21年) | 飯島真一 | 石島秀朗 | 後英雄 | 勝村佳雄 |
| | 川井教義 | 小林大次郎 | 鈴木泉 | 関根弘 |
| | 田所祐次 | 橋本昭 | 横山哲郎 | |
| 1987年卒(S22年) | 荒川芳和 | 飯島浩作 | 海老澤述夫 | 大越憲夫 |
| | 菊地長寿 | 小路実 | 小林政之 | 竹脇元治 |
| | 立原恒夫 | 照沼利博 | 中川純一 | 中村安次郎 |

# 名　簿

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1988年卒(S23年) | 安達一郎 | 安蔵修一 | 岩崎英昭 | 宇留野正義 |
| | 遠藤宗衛門 | 大金誠 | 岡部信一郎 | 久我彰 |
| | 小山秀郎 | 田口清 | 竹内静春 | 手塚正美 |
| | 照沼重輝 | 西山良昭 | 疋田敬嗣 | 藤江栄一 |
| | 前田真一 | 益子壮一 | 望月芳正 | 森田耕造 |
| | 山野内吉明 | 山本昇 | 渡辺幸作 | |
| 1989年卒(S24年) | 青木健治 | 飯島隆 | 市原薫 | 大輪一博 |
| | 鬼澤正明 | 金沢孝憲 | 小林勇一郎 | 小室俊雄 |
| | 櫻場誠二 | 澤野良樹 | 杉山正 | 関根啓三 |
| | 豊田隆久 | 中山雅昭 | 林明 | 古田幸男 |
| | 松本隆史 | 若山実 | | |
| 1990年卒(S25年) | 石川矢一 | 岩崎克美 | 小貫真幹 | 金沢徳治 |
| | 川﨑洋 | 小鹿典雄 | 杉山忠司 | 高倉悦雄 |
| | 富岡慶司 | 中村健四郎 | 深作律夫 | |
| 1991年卒(S26年) | 池田昭一 | 大津順一郎 | 小原宜弘 | 加倉井章一 |
| | 加藤高蔵 | 栗田和典 | 栗原邦俊 | 軍司好幸 |
| | 後藤英明 | 添田稔 | 反町秀記 | 徳永光由 |
| | 廣木修一 | 皆川眞規夫 | 吉久保千春 | |
| 1992年卒(S27年) | 天茂彦 | 遠藤泰生 | 大野秀男 | 奥貫守 |
| | 小椋幸男 | 君島尚之 | 高橋賢吾 | 武居立也 |
| | 堤弘光 | 西野信弘 | 塙由博 | |
| 1993年卒(S28年) | 坏正紀 | 浅川清司 | 石川茂 | 石橋芳久 |
| | 市橋弘光 | 大泉剛 | 大川善弘 | 大久保博之 |
| | 川又英宏 | 木村勝則 | 粂田信行 | 小口昭博 |
| | 小橋広行 | 小林義博 | 榊原一広 | 佐藤衛 |
| | 佐藤慶喜 | 佐野昌志 | 関口達彦 | 高野一美 |
| | 高野豊 | 丹野利行 | 照山卓 | 豊崎繁 |
| | 中野明 | 野澤晃 | 羽生健志 | 林正二 |
| | 藤江和良 | 細谷謙二 | 水口二良 | 水越光男 |
| | 三田寺章 | 室孝一 | | |
| 1994年卒(S29年) | 五十嵐博 | 井坂登 | 石川啓司 | 江橋一浩 |
| | 金澤重雄 | 櫻井盛二 | 笹島宏 | 杉浦良幸 |
| | 関口賢治 | 関谷智 | 高杉俊介 | 千野繁治 |
| | 野村眞実 | | | |
| 1995年卒(S30年) | 足立勇人 | 岩淵恵一 | 大久保雄司 | 兼子充裕 |
| | 川﨑晃一 | 木内洋一 | 久賀谷正夫 | 栗原英則 |
| | 小林茂 | 酒地史人 | 椎名和郎 | 上甲宏 |
| | 杉浦隆之 | 鈴木秀一 | 鈴木操 | 住谷春雄 |
| | 園部秀利 | 多田久寿 | 中村昭彦 | 中村信雄 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 1995年卒(S30年) | 根本勝義 | 萩谷健一 | 八文字典昭 | |
| 1996年卒(S31年) | 浅川久志 | 浅川文規 | 浅野祐一郎 | 安藤義昭 |
| | 飯村研介 | 五十嵐久也 | 市毛一郎 | 岡野光芳 |
| | 亀山義孝 | 鴨志田康 | 木内洋一 | 菊池彰 |
| | 佐藤秀策 | 佐藤英哉 | 佐藤隆一 | 高柳宏 |
| | 外岡浩 | 冨田喜代利 | 長島平 | 山野義玄 |
| 1997年卒(S32年) | 相澤宏之 | 赤木一成 | 石塚正勝 | 一毛裕之 |
| | 大川文久 | 奥田俊裕 | 小野瀬益夫 | 柏啓一 |
| | 加藤昇 | 川又潤進 | 小圷康則 | 桜井益也 |
| | 髙橋清彦 | 竹内順一 | 田中良幸 | 豊田幸司 |
| | 長島正義 | 中村光宏 | 萩谷清司 | 羽石英司 |
| | 原毅 | 皆川嗣朗 | 三村圭一 | 山本裕幹 |
| | 和家孝之 | 綿引隆一 | | |
| 1998年卒(S33年) | 江橋和也 | 大高康広 | 大平勝典 | 小端健司 |
| | 島根昌明 | 関口宏 | 中村純亮 | 新山武志 |
| | 日向野豊 | 廣木勇司 | 広瀬茂 | 高比良実 |
| 1999年卒(S34年) | 青木雅弘 | 加藤欣一 | 金澤徹 | 兼子孝文 |
| | 黒田理夫 | 小林恵治 | 中山英樹 | 根本修 |
| | 樋田修 | 三上靖彦 | 宮田裕司 | |
| 2000年卒(S35年) | 青木民二 | 小柴庄市 | 坂場淑雄 | 桜井務 |
| | 澤田真 | 関原通雄 | 忠末裕一 | 田村彰 |
| | 和田義典 | 内藤学 | | |
| 2001年卒(S36年) | 岩渕寿次 | 内田浩司 | 岡﨑恵一郎 | 岡崎正人 |
| | 奥津靖広 | 片岡満 | 小松直之 | 齊藤元司 |
| | 佐藤昌一 | 竹内雄次 | 田中邦彦 | 成田浩明 |
| | 沼田善郎 | 根本洋一朗 | 廣瀬千秋 | 藤江重樹 |
| 2002年卒(S37年) | 池田智章 | 鬼澤宏幸 | 鬼澤慎人 | 川上幸典 |
| | 久信田秀一 | 後藤浩一 | 鈴木真吾 | 土屋雅則 |
| | 寺川彰 | 寺山比呂志 | 藤田卓也 | 古川洋一 |
| | 増山英和 | 山野内慎吾 | | |
| 2003年卒(S38年) | 石川哲 | 石川哲也 | 遠藤和美 | 大木高典 |
| | 荻原武 | 川名信博 | 木内敏之 | 小松崎重典 |
| | 佐川真治 | 鈴木勇夫 | 長野久嗣 | 幡谷史朗 |
| | 馬維亮 | 横須賀良一 | 吉田光太郎 | |
| 2004年卒(S39年) | 赤堀卓 | 亀田龍太郎 | 田口昇男 | 田所宏章 |
| | 塚田壽廣 | 深谷新太郎 | 堀江潔 | 宮崎雅彦 |
| 2005年卒(S40年) | 磯﨑寛也 | 井上雅裕 | 加藤敏彦 | 神尾圭太郎 |
| | 清田芳孝 | 小林隆己 | 髙木清美 | 竹内秀雄 |
| | 飛田和宏 | 緑川均 | 山本大 | |

# 名　簿

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2006年卒(S41年) | 遠藤　実 | 片岡宗厳 | 北原　実 | 鈴木勝彦 |
| | 田邉俊一 | 原口哲也 | | |
| 2007年卒(S42年) | 今井章人 | 大高伸一 | 川﨑紀子 | 川﨑隆一 |
| | 鯨岡則雄 | 黒澤弘文 | 酒井佳治 | 篠田秀紀 |
| | 須田浩和 | 高安武雄 | 但野友久 | 舘　静馬 |
| | 遠西宏之 | 中川潤一 | 中村健夫 | 林　太一 |
| | 宮久保努 | 八木沢章 | 矢野泰行 | 和田幾久郎 |
| 2008年卒(S43年) | 大越成巳 | 大澤蓉市 | 小貫久史 | 久保田規子 |
| | 國府田長吉 | 庄司充孝 | 鈴木裕治 | 田所雅弘 |
| | 都築宏明 | 幡谷直朗 | 堀口和彦 | 正木　卓 |
| | 吉村真由光 | 李　忠烈 | 李　炳昌 | 若林純也 |
| 2009年卒(S44年) | 赤岩賢二 | 石川忠幸 | 植田佳男 | 大畑和明 |
| | 奥野輝秀 | 川口拓麻 | 小林裕明 | 谷村信一 |
| | 丹野　啓 | 西　修 | 根本　玄 | 塀和紀幸 |
| | 橋本雄太 | 長谷川康宏 | 横須賀　靖 | 吉澤　敦 |
| | 吉澤　元 | | | |
| 2010年卒(S45年) | 秋澤　充 | 阿久津博史 | 市毛秀明 | 今村光宏 |
| | 梅山智広 | 大和田佳典 | 香嶋　貴 | 金澤大介 |
| | 君山勝彦 | 小松﨑康良 | 笹沼一弘 | 澤田幸宏 |
| | 高倉瑞郎 | 中村晴彦 | 沼田直子 | 福島伸享 |
| | 布施武史 | 二川泰久 | 森嶋健夫 | 弓山智廣 |
| 2011年卒(S46年) | 市毛　隆 | 小河原利之 | 加藤研二 | 河合貴弘 |
| | 川又俊之 | 黒澤　勝 | 小泉隆一 | 小林久晃 |
| | 住谷修一 | 田口　茂 | 田山浩之 | 延島英一 |
| | 山縣　聡 | | | |
| 2012年卒(S47年) | 上田良隆 | 金子　岳 | 栗原秀典 | 五條誠司 |
| | 鈴木真一 | 白田礼治 | 宮田武範 | 武藤英一郎 |
| 2013年卒(S48年) | 荒井隆一 | 泉　聡太郎 | 稲毛一樹 | 海老澤法夫 |
| | 川上　哲 | 小路研士 | 佐藤一武 | 澤幡　優 |
| | 田家則行 | 土子仁志 | 唐笠勝之 | 根本貴史 |
| | 綿引　健 | | | |
| 2014年卒(S49年) | 内山智之 | 太田英樹 | 鹿志村　茂 | 鈴木大介 |
| | 関　貴史 | 髙橋　章 | 太田恵美 | 袴塚孝治 |
| | 幡谷哲太郎 | 林　博人 | 保科正人 | 本城裕樹 |
| | 谷津泰宏 | 横山角栄 | | |
| 2015年卒(S50年) | 荒川繁美 | 大髙勝利 | 大谷克憲 | 加藤尚弘 |
| | 高橋憲司 | 戸塚裕義 | 北條智行 | 森野哲也 |
| 2016年卒(S51年) | 石原康雄 | 大関竜太郎 | 岡田眞輝 | 加倉井良志 |
| | 久米　稔 | 笹沼尉行 | 沢畑樹彦 | 芝田政樹 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 2016年卒(S51年) | 渡辺豪成 | | | |
| 2017年卒(S52年) | 岩間賢太郎 | 大川洋久 | 金長義行 | 木本信太郎 |
| | 齋藤貴明 | 棚田裕之 | 中野泰行 | 中山秀一 |
| | 太田章 | 横須賀永一 | | |
| 2018年卒(S53年) | 秋葉良孝 | 稲野辺久智 | 川崎篤之 | 川﨑一馬 |
| | 神原彰仁 | 佐藤平八郎 | 関根宏宜 | 髙橋隆慎 |
| | 田所清敬 | 田中宏幸 | 額賀正博 | 船橋千賀子 |
| | 竹内明美 | | | |
| 2019年卒(S54年) | 明石直樹 | 遠藤仁平 | 大森健輔 | 黒澤永次 |
| | 黒澤淳 | 鈴木憲之 | 橋本智史 | 早川敏史 |
| | 廣瀬雅典 | 益子直之 | | |
| 2020年卒(S55年) | 石山喜郎 | 稲見篤史 | 大泉工 | 小川裕司 |
| | 島貫俊和 | 所巧 | 根本昌義 | 松谷誠之 |
| | 綿引良彦 | | | |
| 2021年卒(S56年) | 岩間琢哉 | 関努 | 関康彦 | 堤圭司 |
| | 永井誠教 | 西野輝久 | 布谷一人 | 萩原樹 |
| | 長谷川大輔 | 早川裕之 | 深作陽右 | 前田拓哉 |
| | 松本圭一郎 | 横田賢一 | | |

# 名　簿

## 物故会員

西山　晋
西原　宏
立原　和昌
関　敏夫
二川　寿二
大谷　久藏
渡辺　善一郎
中山　正
滝口　統雄
佐藤　賢司
金澤　正一
富田　武光
村上　治夫
猿田　篤則
河原田　苗美
木村　傳兵衛
竹内　成一
石塚　武
江橋　上
笹目　喜久治
小林　茂
松田　健之助
川上　猛
金澤　一史
小口　準四郎
稲木　茂男
豊崎　卓
久賀谷　惣一
梶田　育秀
吉田　光男

吉田　敏雄
高橋　透
永沢　邦郎
宮本　誠
碓井　甲一
瀬谷　博次
稲葉　幸郎
高野　博
亀田　祐介
服部　静治
金澤　正巳
田中　収司
三上　晶久
市橋　祐造
大間　順三
川崎　肇
中村　清賢
鈴木　富士男
御厨　芳紀
櫻山　潔
鈴木　康司
岡崎　宗一郎
川又　銀蔵
金澤　徳弘
飛田　信成
高星　修
坂本　秀雄
伊藤　克彦
高畑　順一
富田　賢

柴　次男
細田　重雄
水越　善三
中山　和雄
横須賀　勉
山田　倶幸
柴田　長次衛門
大澤　正
安田　仁
雨森　進
佐川　暢裕
矢萩　款
鯨岡　昭雄
上野　雄一
根本　保
瀧島　英臣
川又　淳之介
秋山　大成
関　政夫
大矢　義和
藤田　保
佐久間　盛一
冨山　建夫
飛田　勝美
渡辺　斉
田所　清孝
櫻井　裕
小林　哲男
長谷川　保夫
安東　捷二

小口　栄市
山岡　隆重
佐久間　彰
中込　佶
坂本　英彦
疋田　宗三
佐川　一信
戸井田　博行
山本　亘
谷川　好文
横川　昭夫
久米　耕造
竹内　昱之助
中野　喜久夫
金澤　英三
前野　廣夫
小林　一彦
米子　英生
菊池　醇
長江　希一
眞家　弘樹
岡田　直太郎
和田　英嗣
幡谷　誠
加治　和行
冨山　洋一
三代　正夫
竹内　昭鐵
大森　三男
金澤　克憲

富永　久
吉久保　幸男
大川　伸
志村　優
多田　尚弘
藤本　貴夫
横山　雄一
嶋田　栄一
佐藤　勝義
堤　敏明
桑原　操
石毛　秀雄
石川　哲郎
羽石　亮
桑村　正敏
飛田　和彦
柏　崇敬
野上　栄太郎
金子　恭富
忽那　指俊
福田　俶政
清水　隆一
滝　邦勝
永野　武晨
渡邉　崇一郎
立原　善重
斎田　弘文
岩淵　徳太郎
中山　卓也

## 賛助企業


株式会社　常陽銀行
茨城県水戸市南町２丁目5-5
☎029（231）2151

水戸信用金庫
茨城県水戸市城南2-2-21
☎029（222）3303

# 編集後記

記念誌の作成にあたり、多くのメンバーの皆様、また水戸JCシニアクラブ「弘道会」OBOGの皆さまのお力添えによって「公益社団法人水戸青年会議所70周年記念誌」を完成させることができました。ご協力いただいた皆様に心から感謝申し上げます。

私たち現役メンバーが生まれる遥か前から続いている水戸青年会議所。その歴史の軌跡を記念誌の作成という視点から辿っていくと、諸先輩方が積み上げてきた想いや信頼を誇りに、時代の先を見据えた運動を展開し続けてきた事が感じ取れました。

この記念誌の発行を通して得られた事に、これまで水戸青年会議所を支えてくださった皆様に感謝するとともに、得られた気付きをこれから10年、20年と続いていく歴史に紡いでいく事を固くお誓い申し上げて編集後記とさせていただきます。

この度はご協力いただきありがとうございました。

JCI Mito


公益社団法人 水戸青年会議所

〒310-0011　茨城県水戸市三の丸1-5-38(茨城県三の丸庁舎1F)
TEL 029-221-6384　FAX 029-221-9631
URL http://www.mito-jc.or.jp/　E-mail info@mito-jc.or.jp